

BDL8470EU/11
V1.00



<http://www.philips.co.jp>

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

Signage*Solutions*

安全上の注意

安全な操作方法とメンテナンスについて



警告：本書に記載のない操作方法で本製品を使用した場合、故障や感電・火災を引き起こす可能性があります。

ディスプレイを使用する際には、以下の指示に従って下さい。

操作時：

- ディスプレイは直射日光の当たらない場所や、熱を発する機器から離れた場所に設置して下さい。
- ディスプレイの通気口は塞がないで下さい。
- ディスプレイ内部の冷却の妨げになるため、通気口付近には物を置かないで下さい。
- ディスプレイを設置する際、電源プラグとコンセントが容易に届く位置にあることをご確認ください。
- 電源コードを取り外すことにより、ディスプレイの電源をオフにした場合には、6秒以上待ってから電源コードを再び取り付けて操作を行って下さい。
- 専用の電源コードを必ずご使用下さい。電源コードを紛失された場合、当社指定のサポートセンターにご連絡下さい。
- ディスプレイの操作中に、強い振動や衝撃を与えないで下さい。
- 操作中あるいは運搬中に、ディスプレイを叩いたり落としたりしないで下さい。
- アイボルトは短時間でのメンテナンスや設置での使用を目的にしたものです。1時間を超える使用は推奨していません。長時間にわたる使用は禁止されています。アイボルト使用中は、ディスプレイの下部に何も置かれていない安全なエリアを保つようにしてください。

メンテナンス：

- ディスプレイを損傷から保護するために、LCDパネル部分に強い圧力をかけないで下さい。ディスプレイを運ぶ際には、フレームを掴んで持ち上げるようにし、LCDパネル部分に触れないようご注意ください。
- 長期間使用しない場合は、ディスプレイの電源プラグを抜いて下さい。
- 湿った布などでディスプレイを拭く場合、電源プラグを抜いて下さい。電源をオフにした状態で、ディスプレイを乾いた布で拭くことはできますが、アルコール、アンモニアなどの有機溶剤の使用は絶対におやめ下さい。
- 故障や感電を防ぐため、ディスプレイについたほこりやゴミは拭き取って下さい。また雨や水を避けるなど、湿気の多い環境に置かないで下さい。
- ディスプレイが濡れてしまった場合、速やかに乾いた布で拭いて下さい。
- ディスプレイに異物や水が混入してしまった場合、速やかに電源をオフにし、電源コードを抜いて下さい。異物や水を完全に取除いた後、当社指定のサポートセンターにご連絡下さい。
- 直射日光や極度な高温・低温にさらされる場所でディスプレイを使用・保管しないで下さい。
- より長くディスプレイのパフォーマンスを維持するために、以下の範囲の温度および湿度での使用を推奨します。
 - 温度：0~40°C
 - 湿度：20~80% RH

重要：ディスプレイを電源を入れた状態で長時間使用しない場合、スクリーンセーバー機能をご活用下さい。静止画像を長時間表示する場合、定期的スクリーンをリフレッシュするアプリケーションをご使用下さい。静止画像を長時間連続して表示すると、画面に残像が残る、「焼き付き」現象が生じる場合があります。一般的に電源をオフにすれば時間の経過と共に和らぎますが、場合によっては改善されないことがあります。

警告：「焼き付き」が著しく悪化した場合、修理ができません。「焼き付き」は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意ください。

サービス：

- ディスプレイのケースカバーの取り外しは、専門のスタッフにご相談下さい。
- 修理が必要な場合は、当社指定のサポートセンターにお問い合わせ下さい。
- ディスプレイを直射日光にさらさないで下さい。



本書に従ってもディスプレイが正常に動作しない場合、当社指定のサポートセンターにお問い合わせ下さい。

アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

目次

1. 開梱と設置	1
1.1. 開梱	1
1.2. 梱包箱に含まれているもの	1
1.3. 設置に関する注意	1
1.4. 壁に取り付ける	2
1.4.1. VESA 規格取付穴	2
1.5. 縦向きの設置について	3
2. 各部の機能	4
2.1. コントロールパネル	4
2.2. 入力 / 出力端子	5
2.3. リモコン	6
2.3.1. 各ボタンの役割	6
2.3.2. リモコンに乾電池を挿入する	7
2.3.3. リモコンの取り扱いについて	7
2.3.4. リモコンの動作範囲	7
3. 外部機器を接続する	8
3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	8
3.1.1. コンポーネントビデオ入力	8
3.1.2. ビデオソース入力	8
3.1.3. HDMI ビデオ入力	8
3.2. PC の接続	9
3.2.1. VGA 入力	9
3.2.2. DVI 入力	9
3.2.3. HDMI 入力	9
3.2.4. DisplayPort 入力	10
3.3. オーディオ機器の接続	10
3.3.1. 外部スピーカーの接続	10
3.3.2. 外部オーディオ装置の接続	10
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	11
3.4.1. ディスプレイコントロール接続	11
3.4.2. デジタルビデオ接続	11
3.5. IR 接続	11
3.6. IR パススルー接続	12
3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続	12
4. 取り扱い	13
4.1. 接続されたビデオソースを見る	13
4.2. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	13
4.3. 再生オプション	13
4.3.1. 音楽ファイルの再生	13
4.3.2. 動画ファイルの再生	13
4.3.3. 写真ファイルの再生	14
4.4. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	14
5. OSD メニュー	15
5.1. OSD メニューをナビゲートする	15
5.1.1. リモコンを使用して OSD メニューをナビゲートする	15
5.1.2. ディスプレイのコントロールボタンを使用して、OSD メニューをナビゲートする	15
5.2. OSD メニューの概要	15
5.2.1. 映像設定メニュー	15
5.2.2. 画面設定メニュー	16
5.2.3. 音質設定メニュー	17
5.2.4. 子画面設定メニュー	17
5.2.5. 詳細設定 1 メニュー	18
5.2.6. 詳細設定 2 メニュー	19
5.2.7. Advanced option メニュー	20
5.2.8. 信号入力設定	23
6. USB デバイス互換性	25
7. 入力モード	27
8. LCD パネルの画素欠陥および MURA について	28
8.1. 輝点欠陥	28
8.2. 部分的な輝点の欠陥	28
8.3. 暗点欠陥	28
9. 清掃とトラブルシューティング	29
9.1. 清掃	29
9.2. トラブルシューティング	30
10. 技術仕様	31
11. 外形図	32

1. 開梱と設置

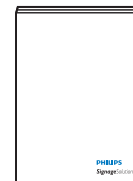
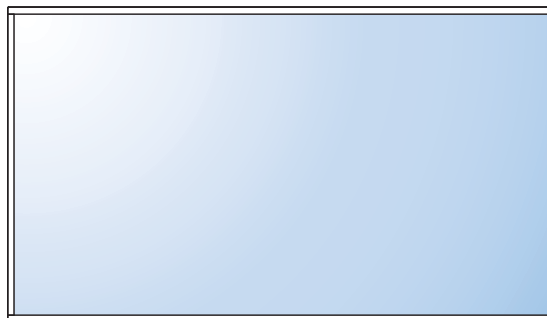
1.1. 開梱

- 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に専用の箱に梱包されています。
- オプションのアクセサリは、別途ご購入が必要です。
- 本ディスプレイは、サイズが大きく重いので、2人以上でお運び下さい。
- 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認下さい。

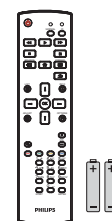
1.2. 梱包箱に含まれているもの

以下のアクセサリに不足がないかをご確認下さい。

- LCD ディスプレイ
- クイックスタートガイド
- リモコン(単4乾電池)
- 電源コード(3 m)
- HDMI ケーブル(1.8 m)
- RS232 ケーブル(3 m)
- RS232 デイジーチェーンケーブル(3 m)
- ロゴ
- IR センサーケーブル(1.8M)



クイックスタートガイド



リモコンと
単4乾電池



ロゴ

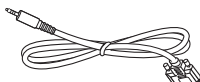
* 付属電源コードは目的地によって異なります。



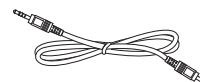
電源コード



HDMIケーブル



RS232ケーブル



RS232デイジーチェーン
ケーブル



IRセンサーケーブル

メモ:

- 他のすべての地域の場合、コンセントの AC 電圧に一致し、特定の国の安全規制により承認され適合する電源コードを利用してください。
- ディスプレイを発送するために、段ボール箱とこん包材料を捨てずに保管するようにお勧めします。

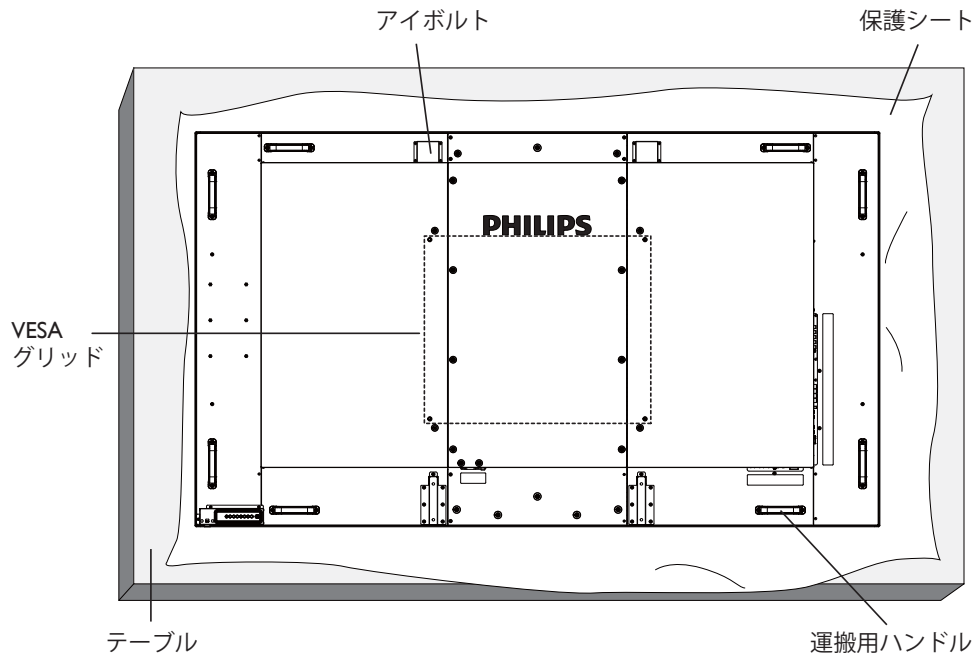
1.3. 設置に関する注意

- 消費電力量の多い製品ですので、本ディスプレイ用に設計された専用の電源プラグをご使用下さい。コードの延長が必要な場合は、代理店または設置サービス事業者にご相談下さい。
- 本ディスプレイを設置する場合は、傾斜面を避け、平らな面に設置して下さい。ディスプレイの背面と壁は、適度に空気が循環する距離を保つ必要があります。使用している電子部品の寿命を短縮する恐れがあるため、本ディスプレイを台所や浴室など湿度の高い場所に設置しないで下さい。
- 本製品は、標高 3,000m 以下での使用を想定しています。
- 標高 3,000m 以上で使用する場合、何らかの異常が生じる可能性があります。

※ 取扱説明書の最新版並びに各種関係ソフトウェアの最新版は、
以下 URL にアクセスして頂き、ダウンロードして入手をお願い致します。
ご不明な点は Philips サポートセンターへお問い合わせください。
URL <http://www.philips.co.jp>。

1.4. 壁に取り付ける

本ディスプレイを壁に取り付けるには、標準の壁掛け用取付金具（市販品）を購入する必要があります。



- 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
- 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付け、テーブルスタンドなど）のすべての付属品があることを確認してください。
- 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- 壁掛け用取付金具には、M8 取付ねじ（取付ブラケットの厚さより 15mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと固定して下さい。
- アイボルトは短時間のメンテナンスや設置での使用を目的にしたものです。1 時間を超える使用は推奨していません。長時間にわたる使用は禁止されています。アイボルト使用中は、ディスプレイの下部に何も置かれていない安全なエリアを保つようにしてください。

1.4.1. VESA 規格取付穴

BDL8470EU/11	600(横) × 500(縦) mm
--------------	--------------------

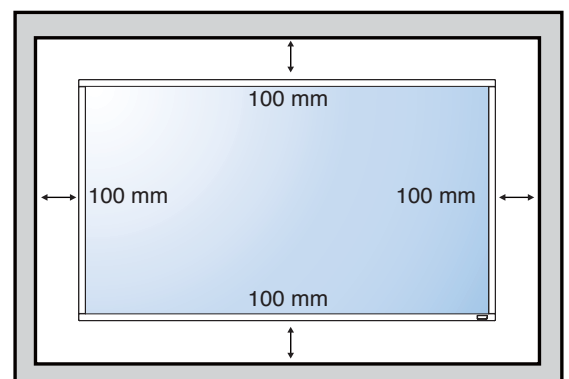
注意：

本ディスプレイの落下を防止するために：

- 本ディスプレイをしっかりと固定できる取付金具をお選び下さい。設置方法については、取付金具に同梱の取扱説明書をご参照下さい。
- 地震などの天災発生時の製品落下による破損や怪我を最小限に抑えるため、設置については取付金具メーカーや設置サービス事業者にご相談の上、行って下さい。

設置場所を決める際の換気要件

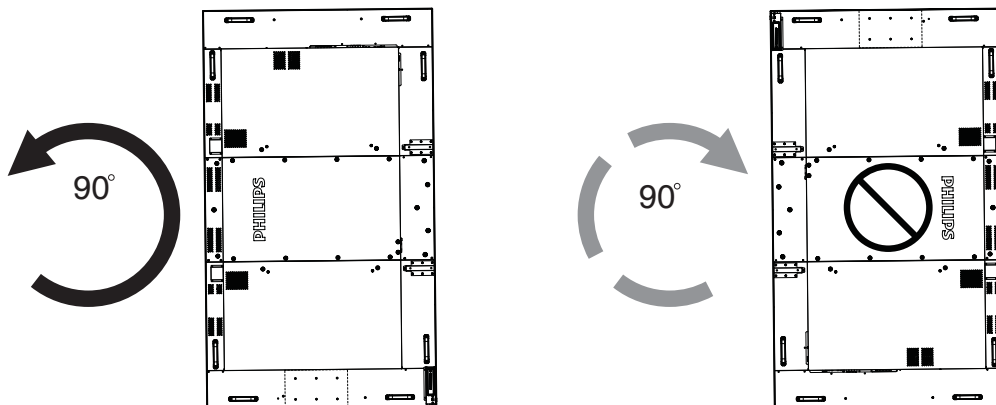
熱がこもるのを防ぐため、右図のように、ディスプレイの周囲に十分なスペースを確保して下さい。



1.5. 縦向きの設置について

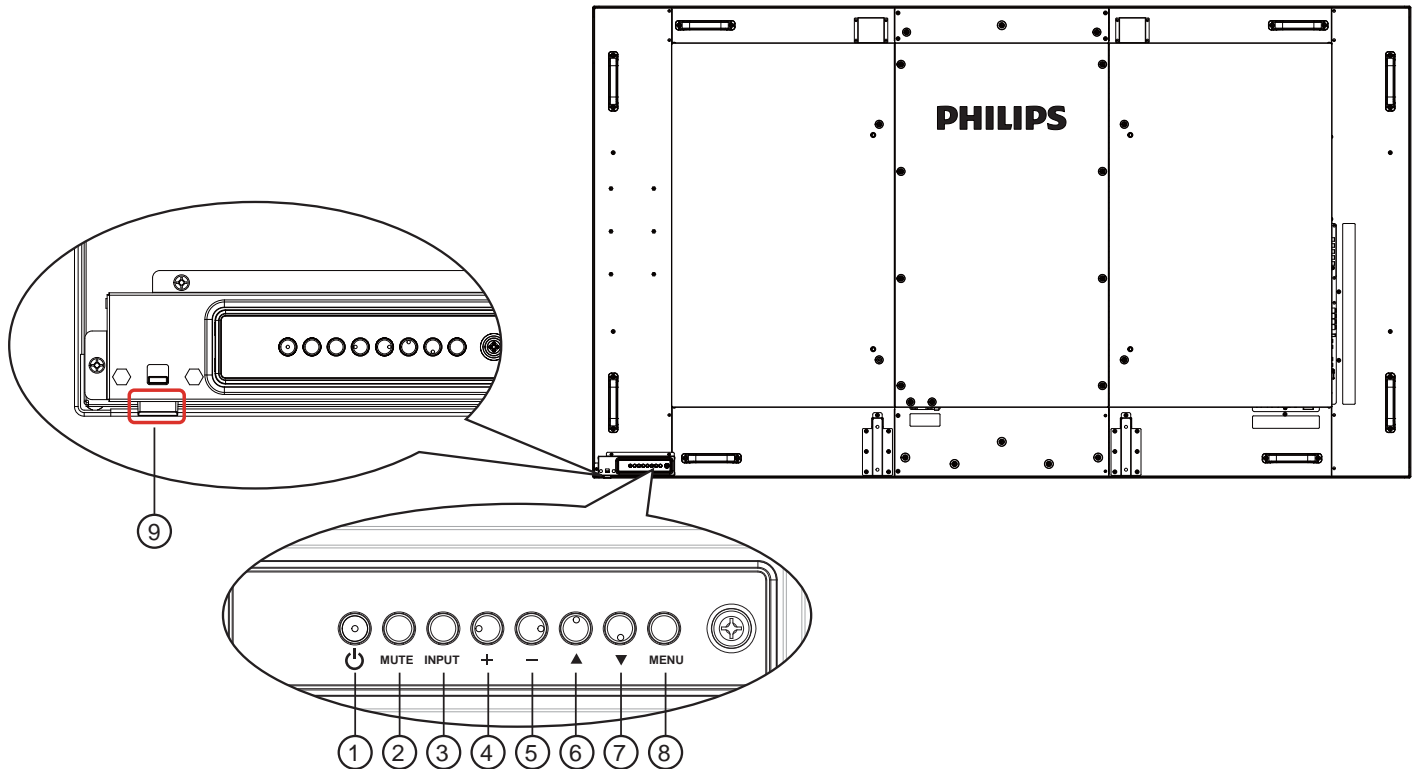
本ディスプレイは、縦向きの位置に設置することができます。


ディスプレイ面と向き合って90度時計回りに回転させます。ディスプレイの裏面に向き合ると、「PHILIPS」ロゴの頭文字「P」が下側に位置します。



2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル

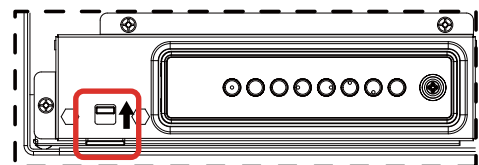


- ① **【】 電源ボタン**
ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。
- ② **【MUTE】 消音ボタン**
音声の消音オン/オフを切り替えます。
- ③ **【INPUT】 入力ボタン**
入力ソースを選択するのに使用します。
- ④ **【+】 ボタン**
OSD メニューの各種項目を調節する際に使用します。OSD メニューが表示されていないときは、音声出力レベルを上げるボタンとして使用します。
 - ・ オンスクリーン ディスプレイ メニューでは **【OK】** ボタンとして使用します。
- ⑤ **【-】 ボタン**
OSD メニューの各種項目を調節する際に使用します。OSD メニューが表示されていないときは、音声出力レベルを下げるボタンとして使用します。
- ⑥ **【▲】 ボタン**
OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。
- ⑦ **【▼】 ボタン**
OSD メニューの各種調節項目を選択する際に使用します。
- ⑧ **【MENU】 ボタン**

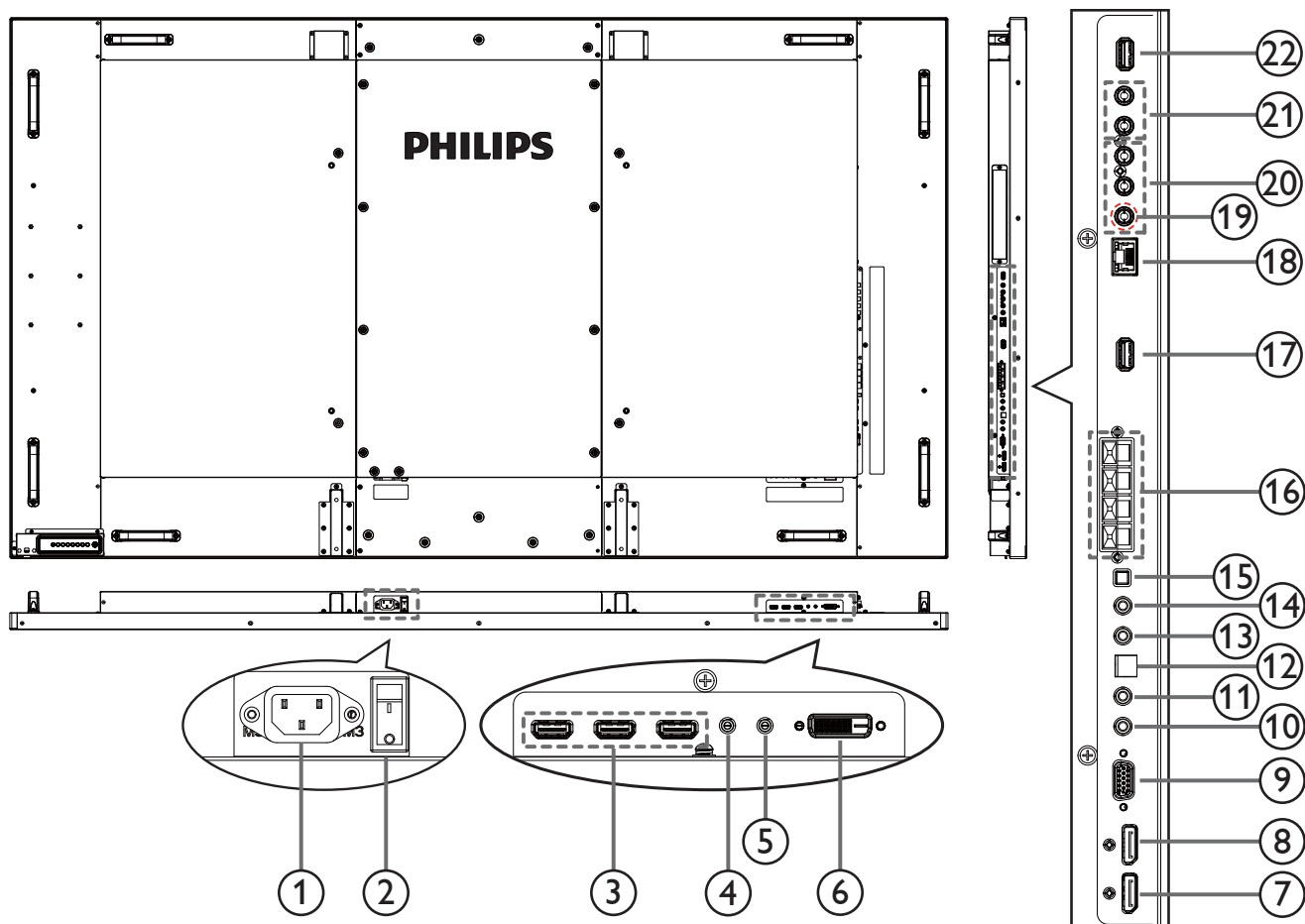
OSD メニュー表示時に押すと、ひとつ前のメニューに戻りません。OSD メニューが表示されていないときに押すと、OSD メニューが表示されます。

⑨ リモコンセンサーと電源状態インジケター

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ 本製品の動作状態を表示します：
 - 本製品の電源がオンのとき緑色点灯する。
 - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する。
 - ディスプレイがパワーセーブモードまたはディープスリープモードに入った場合、琥珀色に点灯します。
 - {スケジュール} が有効の場合は緑と赤色に点滅する。
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す。
 - 本製品の主電源がオフの場合消灯する。
- ・ 上に押し上げてレンズを隠します：



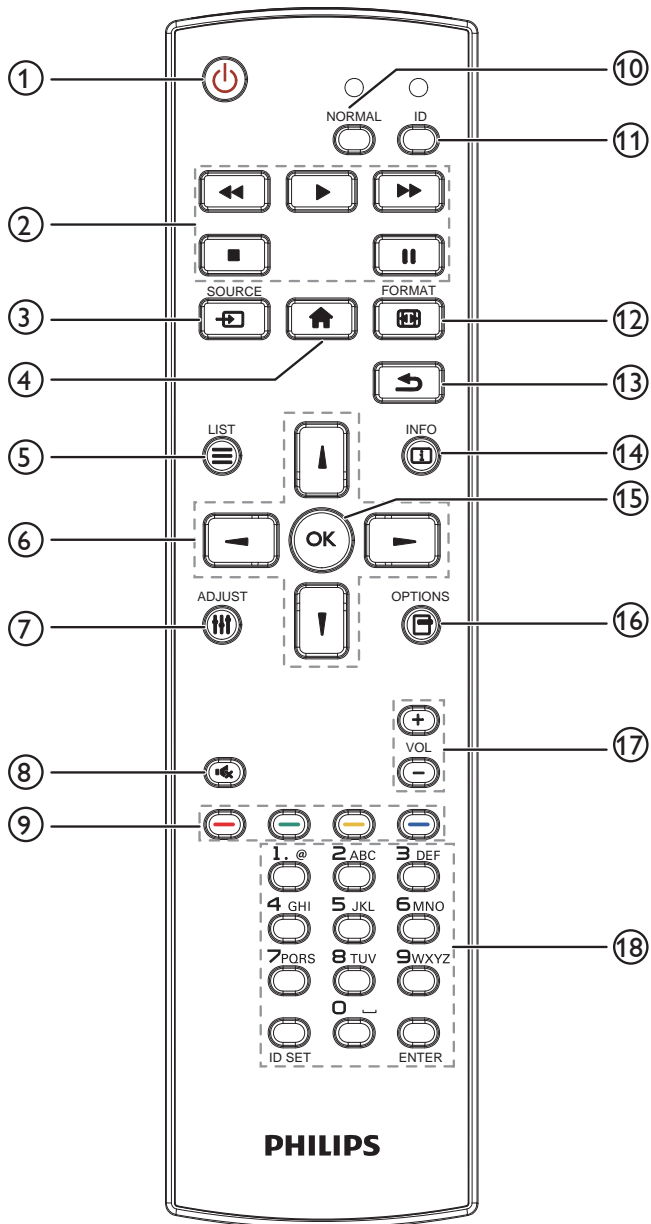
2.2. 入力 / 出力端子



- ① **AC 入力**
AC 電源プラグを接続します。
- ② **主電源スイッチ**
主電源のオン / オフを切り替える。
- ③ **HDMI1 入力 / HDMI2 入力 / HDMI3 入力**
HDMI ビデオ / 音声入力端子です。
- ④ **RS232C 入力 / ⑤ RS232C 出力**
ループスルー機能向けの RS232 信号入力 / 出力端子です。
- ⑥ **DVI 入力**
DVI-D ビデオ入力端子です。
- ⑦ **DisplayPort 入力 / ⑧ DisplayPort 出力**
DisplayPort ビデオ入力 / 出力端子です。
- ⑨ **VGA 入力 (D-Sub)**
VGA ビデオ入力端子です。
- ⑩ **IR 入力 / ⑪ IR 出力**
ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力端子です。
注記:
ジャック [IR IN] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは機能を停止します。本ディスプレイを使ってお持ちの AV 機器をリモート操作するには、12 ページの IR パススルー接続を参照してください。
- ⑫ **SPDIF 出力**
デジタル音声出力端子です。
- ⑬ **音声入力 (ステレオミニジャック)**
VGA 音声入力 (3.5mm ステレオ) 端子です。
- ⑭ **音声出力**
外部 AV 機器への音声出力端子です。
- ⑮ **スピーカースイッチ**
内部スピーカースイッチのオンとオフを切り替えます。
- ⑯ **スピーカー出力**
外部スピーカへの出力端子です。
- ⑰ **USB サービスポート**
メインボードのファームウェア更新の際に USB ストレージに接続します。
注: ファームウェアの更新にのみ使用します。
- ⑱ **RJ-45**
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御用端子です。
- ⑲ **Y/CVBS**
ビデオソース入力端子です。
- ⑳ **コンポーネント入力**
コンポーネント YPbPr ビデオソース入力端子です。
- ㉑ **音声入力**
内部 AV デバイスからの音声 (RCA) 入力端子です。
- ㉒ **USB ポート**
USB ストレージデバイスを接続します。

2.3. リモコン

2.3.1. 各ボタンの役割



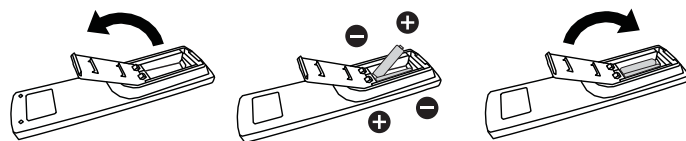
- ① **[電源]** 電源ボタン
ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。
- ② **[Play]** ボタン
メディアファイルの再生を操作します。
- ③ **[源]** ソースボタン
入力ソースを選択します。[↑] または [↓] ボタンを押して、**DisplayPort、DVI-D、VGA、HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、Component、Video、USB、ブラウザー、SmartCMS、Card OPS** から選択します。[OK] ボタンを押して確認し、終了します。
- ④ **[ホーム]** ホームボタン
OSD メニューにアクセスします。
- ⑤ **[三]** リストボタン
使用しません。
- ⑥ **[↑][↓][←][→]** ボタン
メニューを移動して項目を選択します。
- ⑦ **[調整]** 調整ボタン
VGA 入力時の自動調整専用です。
- ⑧ **[消音]** 消音ボタン
消音機能をオン/オフで切り換えます。
- ⑨ **[色]** 色ボタン
タスクやオプションを選択します。
- ⑩ **[ノーマル]** ボタン
ノーマルモードに切り替えます。
- ⑪ **[ID]** ボタン
ID モードに切り替えます。
- ⑫ **[形式]** 形式ボタン
ズームモードを変更します。
- ⑬ **[戻る]** 戻るボタン
以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。
- ⑭ **[i]** 情報ボタン
現在実行しているアクティビティの情報を表示します。
- ⑮ **[OK]** ボタン
入力または選択を確定します。
- ⑯ **[オプション]** オプションボタン
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。
- ⑰ **[−][+]** 音量ボタン
音量を調節します。
- ⑱ **[NUMERIC]** ボタン
ネットワーク設定のテキストを入力して、ID モードの ID を設定します。

2.3.2. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 1.5V 単 4 乾電池 2 本で作動します。

以下に従い、乾電池を入れて下さい。

1. カバーを押してスライドさせ、電池ケースを開いて下さい。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて乾電池を入れて下さい。
3. カバーを閉じて下さい。



注意：

乾電池を間違えて使用すると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従って下さい：

- 単 4 乾電池の (+) と (-) 記号が、電池ケース内の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- 異なる種類の乾電池を一緒に使用しないで下さい。
- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないで下さい。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- 使用済みの乾電池は液漏れの原因となるため、使用しないで下さい。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池の漏れた酸に触れないで下さい。

注記： 長期間リモコンを使用しない場合、乾電池を取り出して下さい。

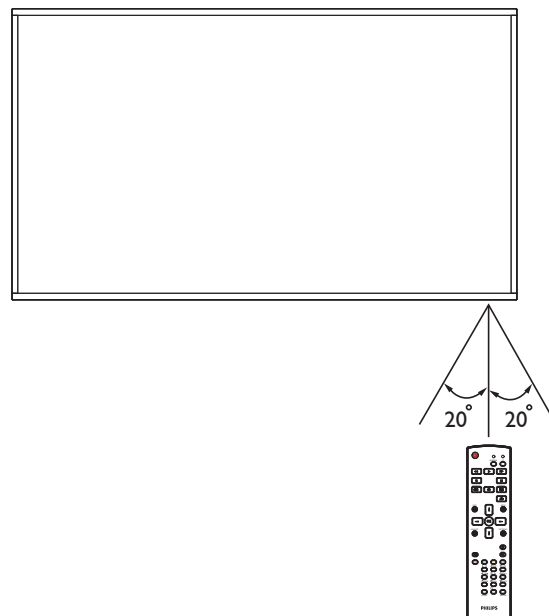
2.3.3. リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないで下さい。
- 水などの液体をリモコンにかけないで下さい。リモコンが濡れたときには、速やかに拭いて乾かして下さい。
- 熱と蒸気を避けて下さい。
- 乾電池を入れるとき以外は、リモコンのカバーを開けないで下さい。

2.3.4. リモコンの動作範囲

リモコンを操作をするときは、リモコンの上部をディスプレイのリモコンセンサーに向け、リモコンセンサーから 5 メートル未満、水平方向と垂直方向それぞれ 20 度未満の範囲内でご使用下さい。

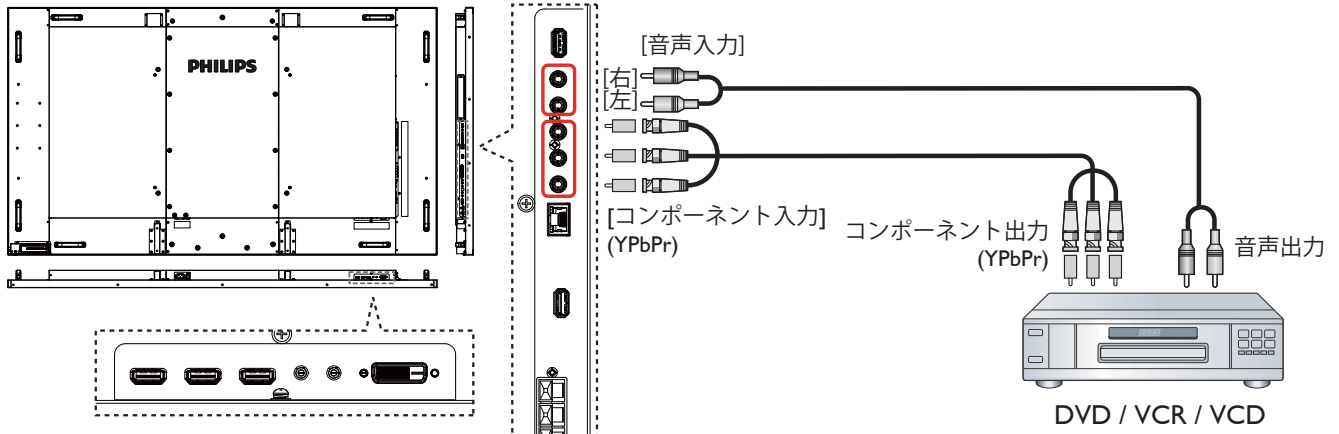
注記：リモコンセンサーに直射日光や強い照明が当たっていたり、信号の経路に障害物がある場合は、リモコンが適切に作動しないことがあります。



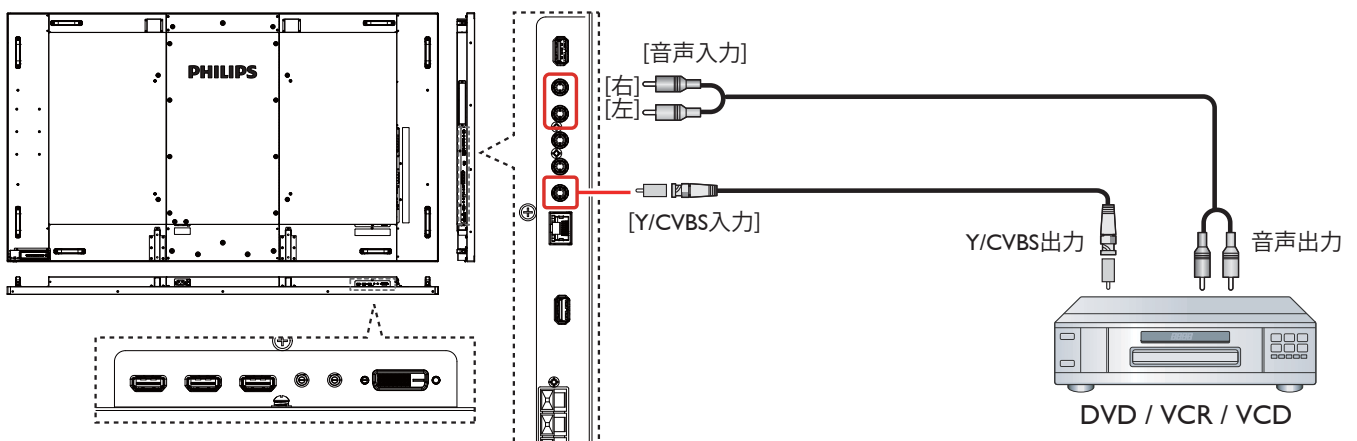
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

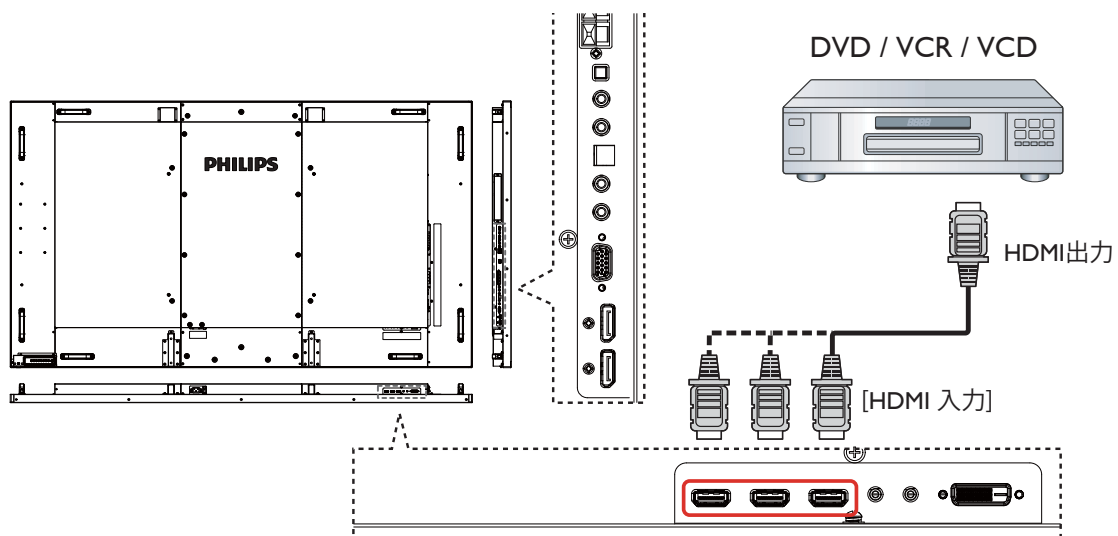
3.1.1. コンポーネントビデオ入力



3.1.2. ビデオソース入力

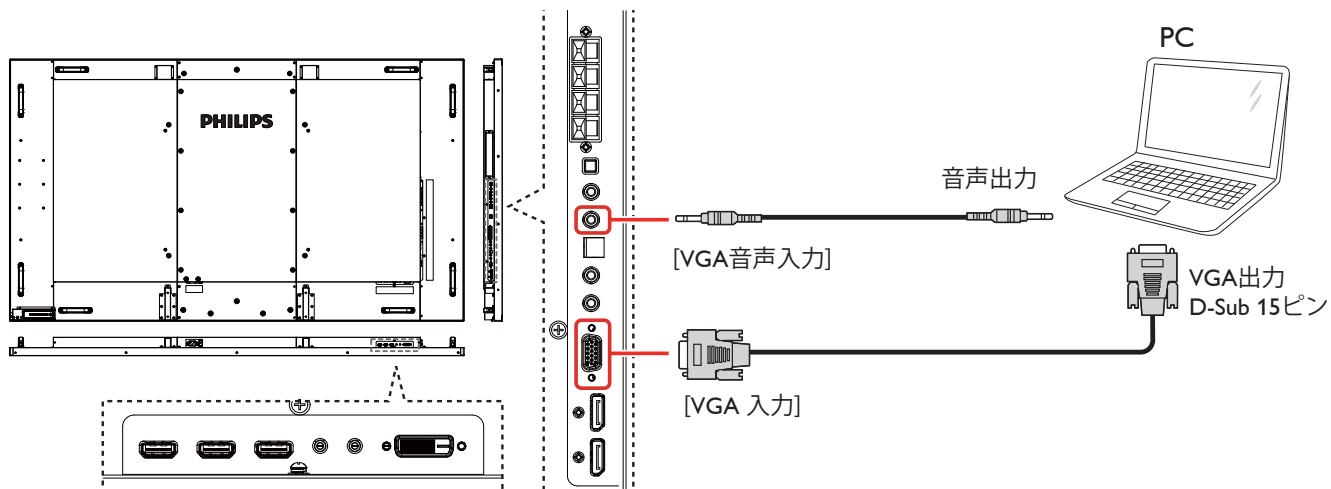


3.1.3. HDMI ビデオ入力

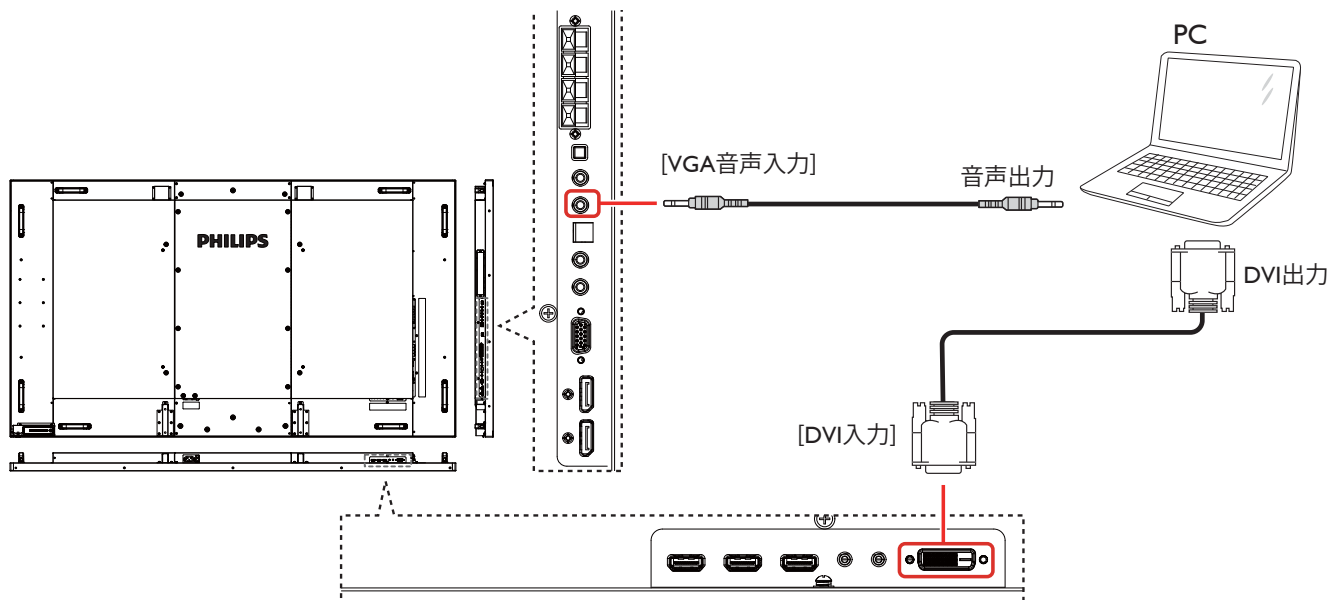


3.2. PC の接続

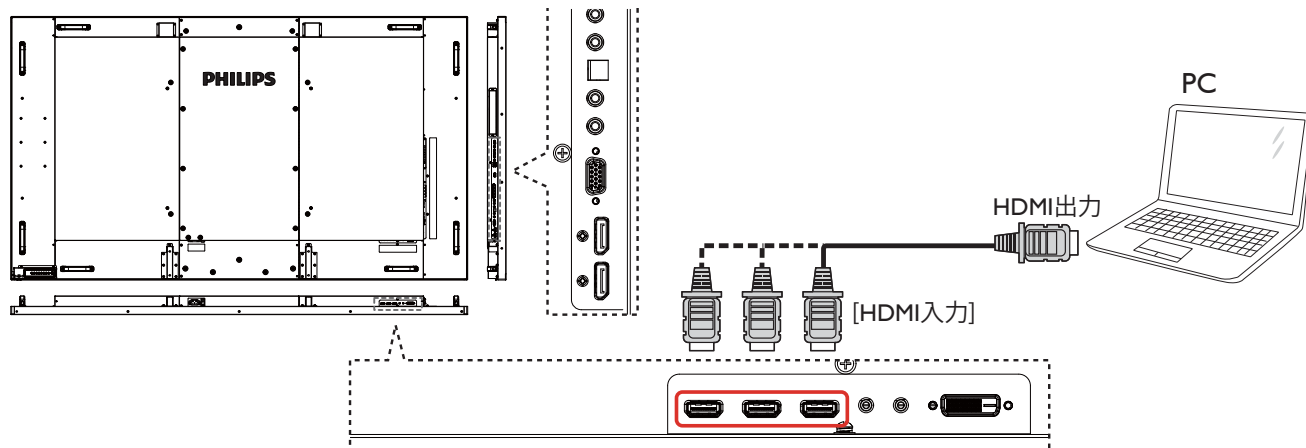
3.2.1. VGA 入力



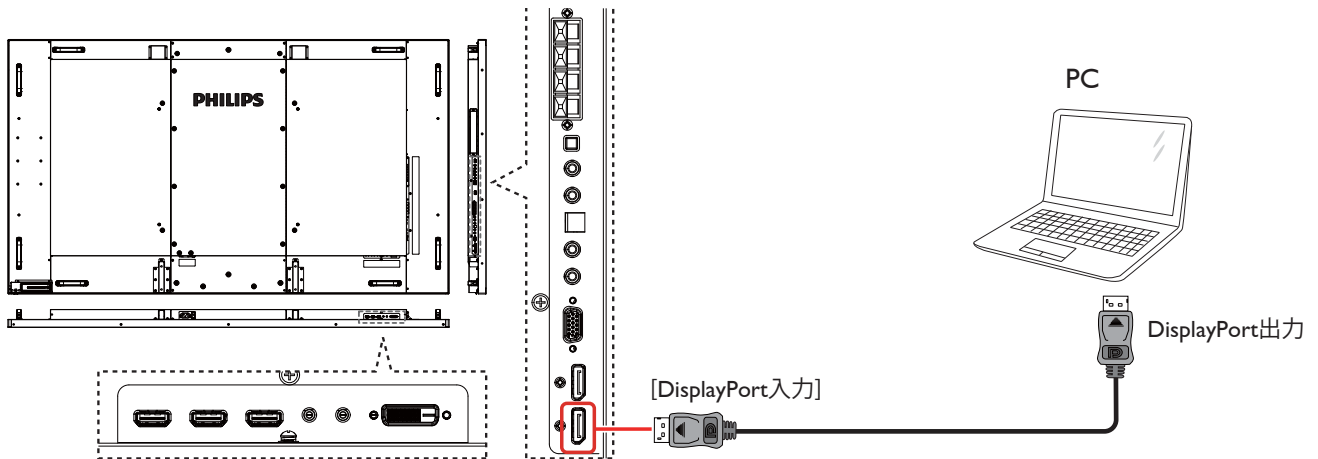
3.2.2. DVI 入力



3.2.3. HDMI 入力

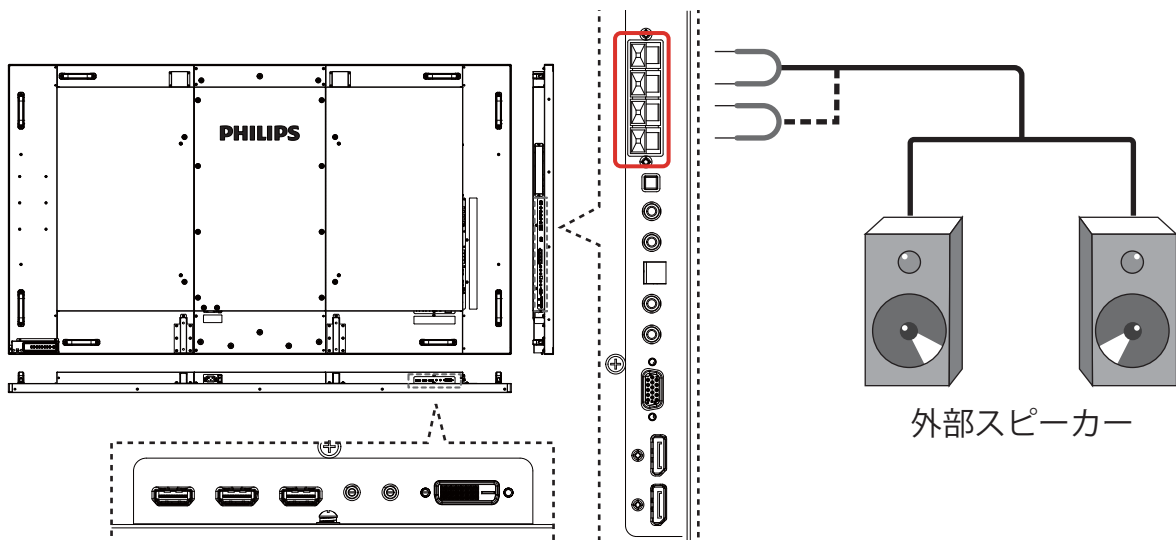


3.2.4. DisplayPort 入力

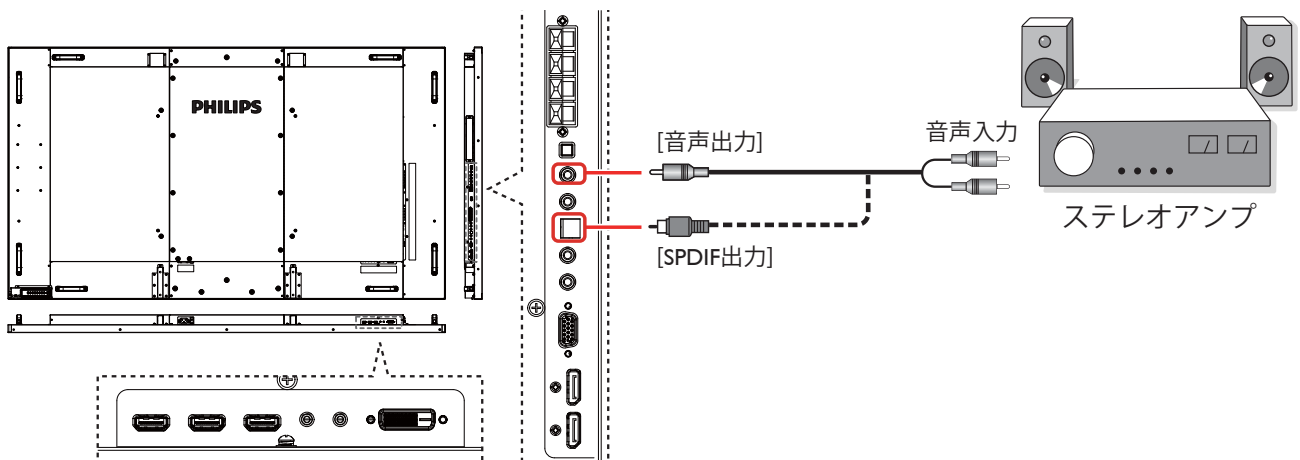


3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部スピーカーの接続



3.3.2. 外部オーディオ装置の接続



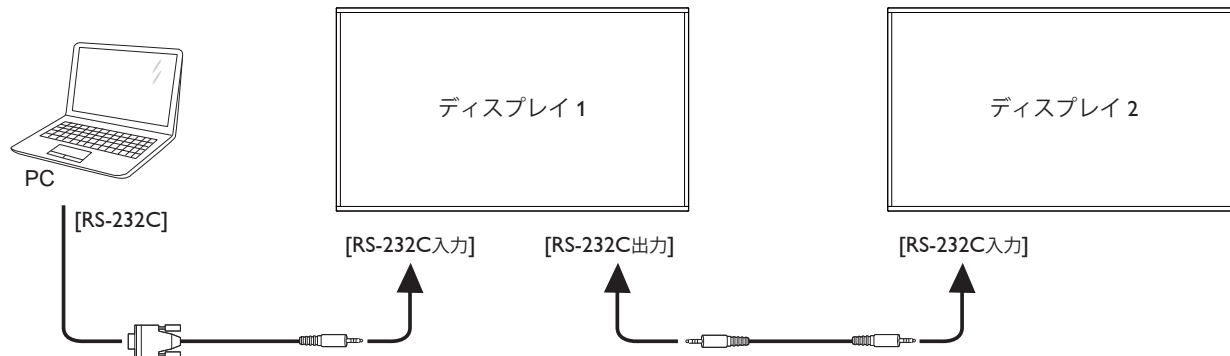
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

複数のディスプレイを相互接続し、壁掛けビデオなどの用途向けのデイジーチェーン構成を作成することが可能です。

注： デイジーチェーン構成では、最大 25 台のディスプレイ (5x5) を使用できます。

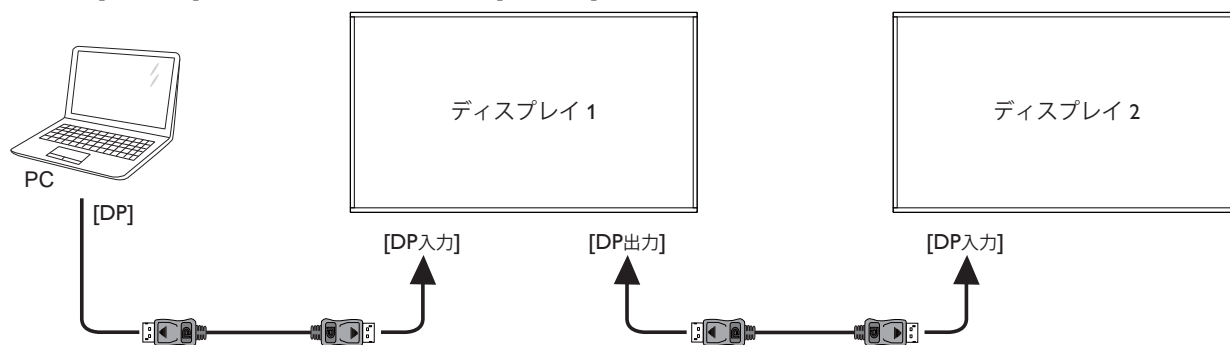
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [RS232C 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [RS232C 入力] コネクタに接続します。

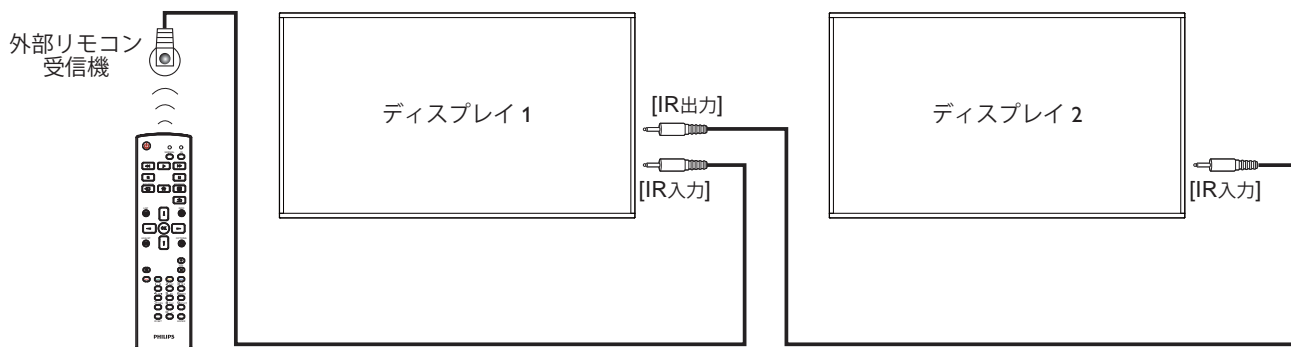


3.4.2. デジタルビデオ接続

ディスプレイ 1 の [DP 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [DP 入力] コネクタに接続します。

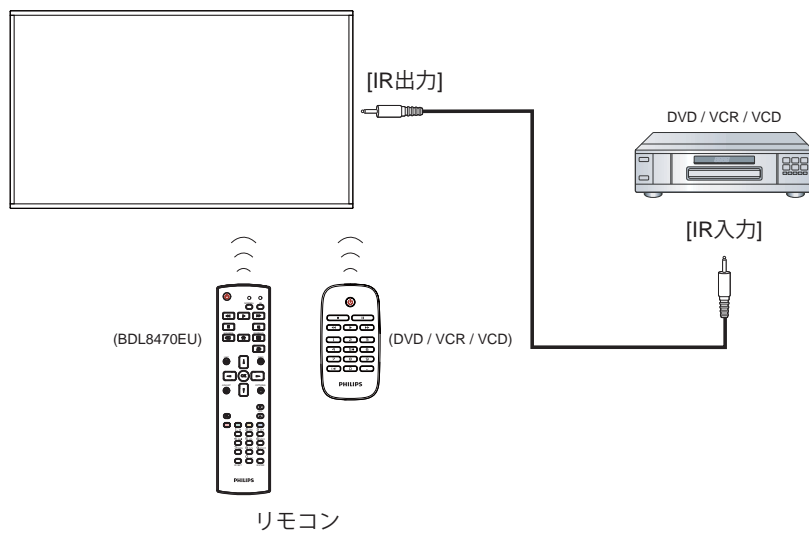


3.5. IR 接続

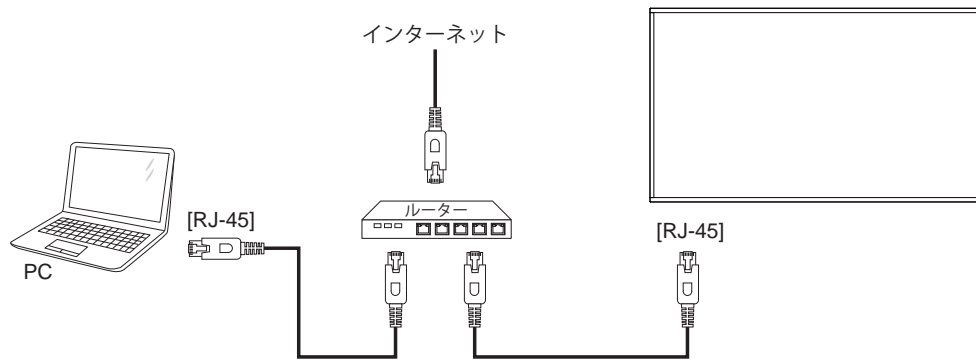


注： [IR 入力] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。

3.6. IR パススルー接続



3.7. ケーブルを使ったネットワーク接続



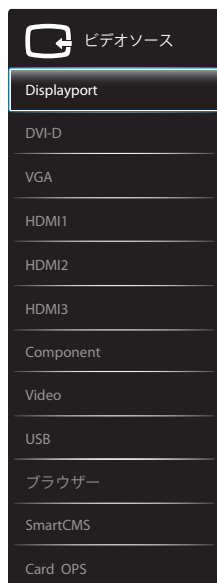
4. 取り扱い



注： この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースを見る

外部機器の接続に関しては、13 ページを参照してください。

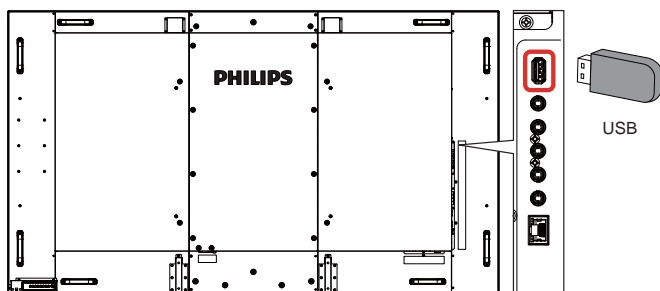
1. [] ソースボタンを押します。














2. [] または [] ボタンを押してデバイスを選択し、[**OK**] ボタンを押します。

4.2. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。











2. [] ソースボタンを押して、**USB** を選択し [**OK**] ボタンを押します。
3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能な全てのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。 **音楽**、 **ムービー**、そして  **写真** です。
4. スクリーンの最上層に戻るには、[] 戻るボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [] または [] ボタンを押します。再生リストを表示するには [**OK**] ボタンを押します。
5. 必要なファイルを選択します。再生するには [**OK**] ボタンを押します。
6. スクリーン上の説明に従って再生オプションを操作します。
7. [**再生**] ボタン (   ) を押して再生を操作します。

4.3. 再生オプション

4.3.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの  **Music** を選択します。





2. 曲を一曲選択して [**OK**] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての曲を再生するには、音楽ファイルを選択します。その後 [] を押して **Play All (すべて再生)** を実行します。
 - 曲をスキップするには、[] または [] ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには [**OK**] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [**OK**] ボタンを押します。
 - 前後の 10 秒間をスキップするには [] または [] ボタンを押します。
3. 再生順を変更するには、[] または [] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。
 - 音楽を停止するには [] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に [] **OPTIONS (オプション)** ボタンを押し、その後 [**OK**] ボタンを押してオプションを選択します。







- **{Shuffle}** (シャッフル): 曲のランダム再生を有効または無効にします。
- **{Repeat}** (リピート): 曲またはアルバムを繰り返して再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、一回のみ再生するには {Play once} (一回のみ再生) を選択します。

注記： 曲の情報 (例：曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して [] **INFO** ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう一度 [] **INFO** ボタンを押します。

4.3.2. 動画ファイルの再生

1. トップバーの  **Movie** を選択します。



2. 動画を選択して [**OK**] ボタンを押します。
 - フォルダー内にあるすべての動画を再生するには、動画ファイルのひとつを選択します。その後 [] を押して **Play All** を実行します。
 - 動画を一時停止するには [**OK**] ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 [**OK**] ボタンを押します。
 - 前後の 10 秒間をスキップするには [] または [] ボタンを押します。
 - 再生順を変更するには、[] または [] ボタンを押します。速度を切り替えるには繰り返して押し続けます。
 - 動画を停止するには [] ボタンを押します。

Movie オプション

動画の再生中に [] **OPTIONS** ボタンを押し、その後 [**OK**] ボタンを押してオプションを選択します。

- **{Subtitles}** (字幕): 表示可能な字幕を設定します。
- **{Subtitle Language}** (字幕言語): 表示可能な字幕の言語を選択します。

- **{Shuffle}** (シャッフル): 動画ファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- **{Repeat}** (リピート): 動画ファイルを繰り返し再生するには {Repeat} (リピート) を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play once} (一回のみ再生) を選択します。
- **{Status}**: 動画の情報 (例: Title / Size / Date / Sound mode) を表示。

4.3.3. 写真ファイルの再生




1. トップバーの  **Photo** を選択します。



2. 小さく表示された写真を選んで **[OK]** ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後  を押して **Play All** を実行します。


- 前後の写真をスキップするには  または  ボタンを押してから **[OK]** ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには  ボタンを押します。

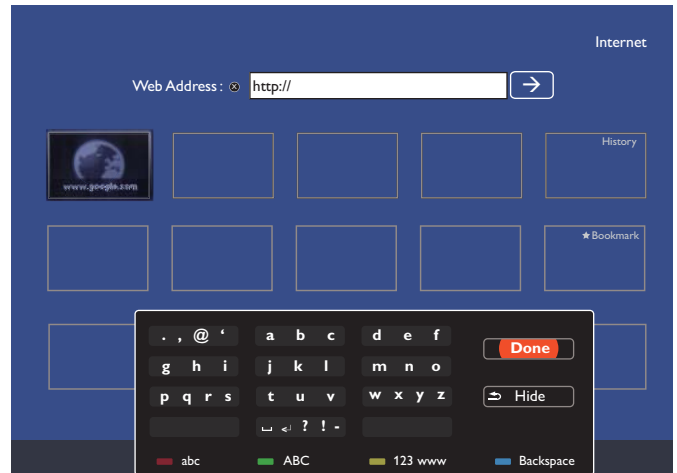
スライドショーオプション


スライドショーの再生中に  **OPTIONS (オプション)** ボタンを押し、その後 **[OK]** ボタンを押してオプションを選択します。

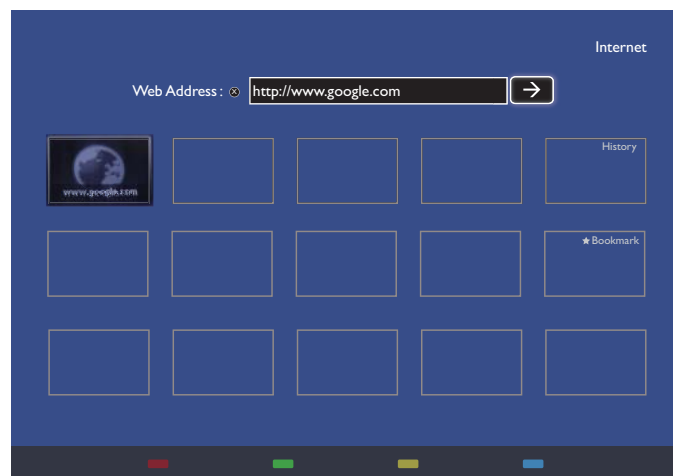
- **{Shuffle}** (シャッフル): スライドショーでの画像のランダム表示を有効または無効にします。
- **{Repeat}** (リピート): スライドショー を繰り返し鑑賞する場合は {Repeat} (リピート) を選択し、一回だけ鑑賞する場合は {Play once} (一回のみ再生) を選択します。
- **{Slideshow Time}** (スライドショー時間): スライドショーでの写真の表示時間を設定します。
- **{Slideshow Transitions}** (スライドショートランジション): スライドが切り替わる時のスタイルを設定します。

4.4. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

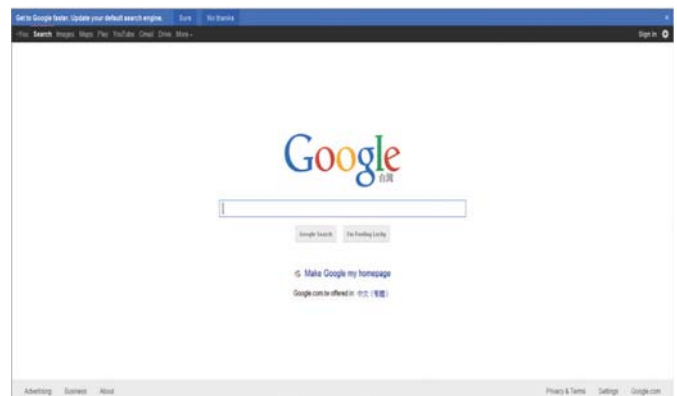
1.  ソースボタンを押して、**Internet (インターネット)** を選択し **[OK]** ボタンを押します。
2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。 **[OK]** ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら **完了** を選びます。



3. カーソルを「」アイコンに移動して **[OK]** ボタンを押します。



4. ウェブサイトが表示されます。



メモ:

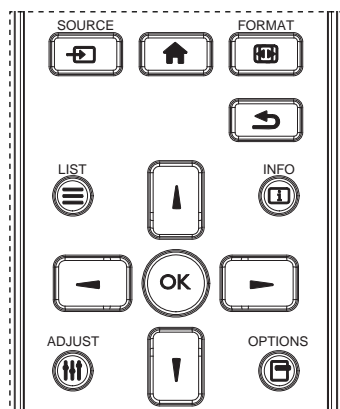
- Opera ブラウザはFLASH形式に対応していません。
- ブラウザはビデオソースではありません。本ディスプレイを再起動した後は、ウェブサイトの画面には戻りません。

5. OSD メニュー

オンスクリーンディスプレイ (OSD) 構造の全体図を以下に示します。この全体図は、ディスプレイをさらに調整する場合の参照として使用できます。

5.1. OSD メニューをナビゲートする

5.1.1. リモコンを使用して OSD メニューをナビゲートする



1. リモコン上の [HOME] ボタンを押して、OSD メニューを表示します。
2. [▲] ボタンもしくは [▼] ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. [OK] または [▶] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[▲] ボタンまたは [▼] ボタンまたは項目を切り換えて、[◀] ボタンまたは [▶] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[OK] または [▶] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [↶] ボタンを押して直前のメニューに戻るか、または [HOME] ボタンを押して OSD メニューを離れます。

メモ:

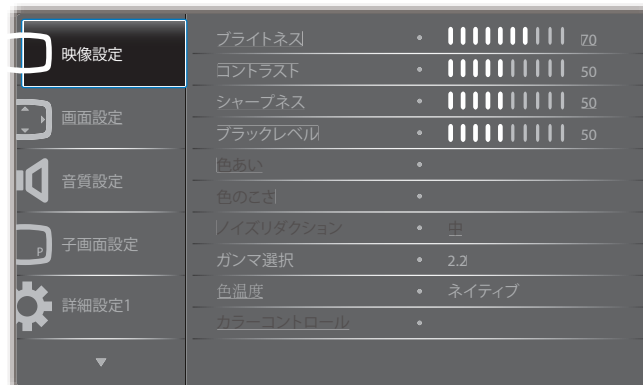
- 画面に OSD メニューが表示されない場合は、[▲] を押して {スマートピクチャー} のメニューを表示します。
- 画面に OSD メニューが表示されない場合は、[▼] を押して {オーディオソース} のメニューを表示します。

5.1.2. ディスプレイのコントロールボタンを使用して、OSD メニューをナビゲートする

1. [メニュー] ボタンを押して、OSD メニューを表示します。
2. [+] ボタンもしくは [-] ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. [+] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[▲] ボタンまたは [▼] ボタンまたは項目を切り換えて、[+] ボタンまたは [-] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[+] ボタンを押してサブメニューに入ります。
1. [メニュー] ボタンを押して直前のメニューに戻るか、または [メニュー] ボタンを数回押して OSD メニューを離れます。

5.2. OSD メニューの概要

5.2.1. 映像設定メニュー



ブライツネス

LCD パネルのバックライトの強度を変更し、画像全体の明るさを調整します。

コントラスト

画像の明暗差を調整し、メリハリをつけます。映像の黒い部分はより深みを増し、白い部分はより明るくなります。

シャープネス

画像の輪郭がよりはっきりと見えるように調整します。

ブラックレベル

画像が最も暗い(黒い)部分の輝度レベルを決定します。調整により画像の輝度を変更します。

色合い

画像の色合いを調整します。

[◀] [▶] ボタンで調整します。[▶] ボタンを押すと肌色がやや緑がかった色に変わります。[◀] ボタンを押すと肌色がやや紫がかった色に変わります。

注: この項目はビデオモード(YUV 色空間)専用です。

色のごさ

画像の色の濃さを調整します。

注: この項目はビデオモード(YUV 色空間)専用です。

ノイズリダクション

画像のノイズを除去するよう調整します。適切なノイズ除去レベルを選択できます。

{オフ} / {低} / {中} / {高} から選択します。

注: この項目はビデオモード(YUV 色空間)専用です。

ガンマ選択

ガンマは画像の全体的なブライツネスを制御するものです。正しく補正されない画像は、白すぎまたは黒すぎとなります。したがって、ガンマを適切に制御することで、ディスプレイ全体の映像品質に大きな影響を与えることができます。

オプションは次の通りです。{ネイティブ} / {2.2} / {2.4} / {S gamma} / {D-image}。

色温度

画像の色温度を選択します。低い色温度は赤みを、高い色温度は青みを持ちます。

{3000K} / {4000K} / {5000K} / {6500K} / {7500K} / {9300K} / {10000K} / {ネイティブ} / {ユーザー 1} / {ユーザー 2} から選択します。

カラーコントロール

R (赤)、G (緑)、B (青) の設定を以下の条件下で個別に変更することで、画像の色調を正確に調整できます。

{映像設定} - {色温度} - {ユーザー} の設定を [ユーザー 1] に設定。

100K ほどの色調を以下の条件下で 2000K ~ 10000K の範囲にします。

{映像設定} - {色温度} - {ユーザー} の設定を [ユーザー 2] に設定。

スマートピクチャー

次のスマートピクチャーモードが利用できます。

- PC モード : {標準} / {高輝度} / {sRGB}。
- ビデオモード : {標準} / {高輝度} / {シネマ}。

スマートコントラスト

暗いシーンでの画像のコントラストを強めます。スマートコントラストがオンになっているときは、映像設定メニューのブライトネス設定は無効になります。

スマートパワー

自動的に消費電力を低減するように本製品を設定します。

オプションは次の通りです。{オフ} / {中} / {高}。

ライトセンサー

ライトセンサー機能は、周囲の明るさが変化した時にディスプレイ自体の明るさを調整するものです。

注： ライトセンサーを使用するには外部センサーが必要です。

スキャンモード

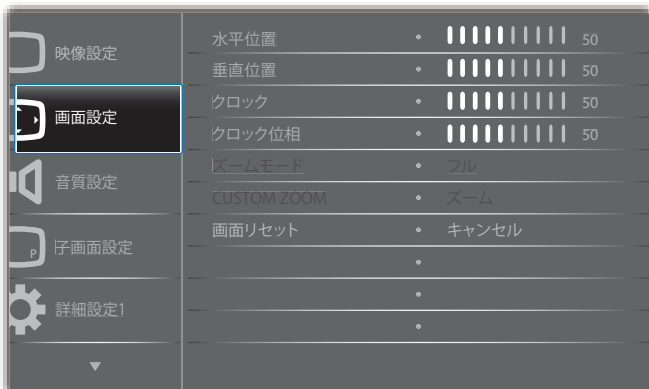
本製品の画像領域を変更します。

- {オーバースキャン} - 画像を元の約 95% の大きさで表示します。画像を囲む残りの領域はカットされます。
- {アンダースキャン} - 元のサイズで画像を表示します。

画像リセット

映像設定メニューですべての設定をリセットします。

5.2.2. 画面設定メニュー



水平位置

画像を右に移動するには [▶] ボタンを、左に移動するには [◀] ボタンを押します。

メモ：

- 水平位置調整はVGA 入力専用の機能です。
- {ピクセルシフト} がアクティブになっているとき、水平位置は調整できません。

垂直位置

画像を上を移動するには [▲] ボタンを、下に移動するには [▼] ボタンを押します。

メモ：

- 垂直位置調整はVGA 入力専用の機能です。
- {ピクセルシフト} がアクティブになっているとき、垂直位置は調整できません。

クロック

画像の幅を調整します。

注： この項目はVGA 入力でのみ有効です。

クロック位相

焦点、画像の明瞭さ、および安定度を改善するよう調整します。

注： この項目はVGA 入力でのみ有効です。

ズームモード

受信する映像は、16:9 フォーマット (ワイド画面) または 4:3 フォーマット (従来の画面) で送信されます。16:9 映像は、画面の上下に黒い部分が現れます (レターボックス形式)。{モーション} が有効またはオンになっている場合と {Tiling} が有効になっている場合は、ズームモードが無効になります。

以下から選択します : {フル} / {ノーマル} / {リアル} / {21:9} / {カスタム}。




	フル このモードでは、全画面表示を使用して、16:9 で送信された映像を正しい映像比に戻します。
	ノーマル この映像は 4:3 フォーマットで再現され、映像の両側には黒い部分が表示されます。
	リアル このモードでは、オリジナルの画像サイズを変えることなく、画面に画素ごとの画像を表示します。
	21:9 映像は 21:9 形式に拡大されます。上部と下部に黒い部分がある映像を表示しているとき、このモードを推奨します (レターボックス形式)。
	カスタム 選択すると [CUSTOM ZOOM] サブメニューでカスタムズーム設定を適用します。

CUSTOM ZOOM

この機能は、表示したい画像に合わせるため、ズーム設定をカスタマイズするのに使用できます。

注： この項目は {ズームモード} 設定が {カスタム} に設定されているときのみ機能します。

	ズーム 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
	水平ズーム 画像の水平サイズのみを拡大します。

	垂直ズーム 画像の垂直サイズのみを拡大します。
	水平位置 画像の水平位置を左右に移動します。
	垂直位置 画像の垂直位置を上下に移動します。

画面リセット

画面設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

5.2.3. 音質設定メニュー

映像設定	バランス	50
画面設定	高音	50
音質設定	低音	50
子画面設定	音量	30
詳細設定1	最大音量	100
	最小音量	0
	消音	オフ
	音質リセット	キャンセル

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

低音

低音の増減を調整します。

音量

音声出力レベルを調整します。

最大音量

最大音量レベルを設定します。音の出過ぎを防ぎます。

最小音量

最小音量レベルを設定します。

消音

消音機能のオン/オフを切り替えます。

音質リセット

音質設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。



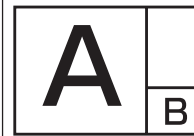
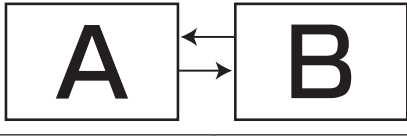
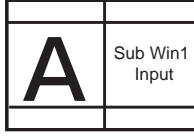
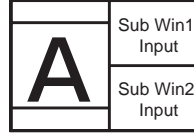
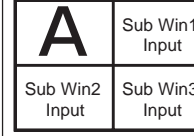
5.2.4. 子画面設定メニュー

映像設定	サブモード	オフ
画面設定	子画面サイズ	小
音質設定	子画面位置	左下
子画面設定	PIP 変更	キャンセル
詳細設定1	子画面リセット	キャンセル

サブモード

PIP (子画面設定) モードを選択します。

以下から選択します : {オフ} / {PIP} / {POP} / {クイックスワップ} / {PBP 2Win} / {PBP 3Win} / {PBP 4Win}。

オフ	PIP	POP
		
クイックスワップ		
		上部の親画面音声か上部のサブを切り替えます。
PBP 2Win	PBP 3Win	PBP 4Win
		

子画面サイズ

PIP (子画面設定) モードでサブピクチャーのサイズを選択します。以下から選択します : {小} / {中} / {大} から選択します。

子画面位置

PIP (子画面設定) モードでサブピクチャーの位置を選択します。以下から選択します : {右下} / {左下} / {右上} / {左上}。

PIP 変更

親画面音声とサブの入力信号を PIP / POP / クイックスワップモードに切り替えます。

子画面リセット

PIP 設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

メモ :

- PIP 機能は、次の条件の場合のみ使用できます。{Advanced option} - {Tiling} - {有効} の設定を [しない] にします。

- PIP 機能は、以下の表のように特定の信号ソースの組み合わせでのみ使用できます。

親画面 サブ	DP	OPS	HDMI1	VGA	HDMI2	HDMI3	COMP	VIDEO	USB	ブラウザ	SmartCMS	DVI
DP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OPS	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
HDMI1	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VGA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
HDMI2	○	○	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○
HDMI3	○	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○
COMP	○	○	○	○	○	○	○	X	X	X	X	○
VIDEO	○	○	○	○	○	○	○	X	X	X	X	○
USB	○	○	○	○	○	○	○	X	X	○	X	○
ブラウザ	○	○	○	○	○	○	○	X	X	X	○	○
SmartCMS	○	○	○	○	○	○	○	X	X	X	X	○
DVI	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 使用可能な PIP, X: 使用できない PIP 機能

- PIP 機能の適用は、使用される入力信号の解像度によっても変わります。

5.2.5. 詳細設定 1 メニュー



スイッチオン状態

電源プラグを接続したときに適用されるディスプレイの状態を選択します。

- { 電源オフ } - 電源プラグがコンセントに接続されたとき、ディスプレイはオフの状態を保ちます。
- { 強制オン } - 電源プラグがコンセントに接続されたとき、ディスプレイはオンの状態となります。
- { 最後のステータス } - 電源プラグを外して再び接続すると、ディスプレイはひとつ前の電源状態 (オン / オフ / スタンバイ) に戻ります。

オートアジャスト

この機能を使用すると、自動的に VGA 入力画像を最適化します。

注: この項目は VGA 入力でのみ有効です。

パワーセーブ

この設定を使用して、自動的に消費電力を低減します。

- { RGB } - { オン } を選択すると、PC モード (RGB 色空間) 入力から信号が間検出されない場合、10 秒後にディスプレイがパワーセーブモードに入ります。
- { Video } - { オン } を選択すると、Video モード (YUV 色空間) 入力から信号が間検出されない場合、10 秒後にディスプレイがパワーセーブモードに入ります。


Panel saving

「焼き付き」、「ゴースト像」現象を低減するための設定です。

- { 冷却ファン } - 冷却ファンの回転速度を調節する時に選択します。{ 自動 } を選択すると、本製品の温度に応じて冷却ファンの電源が ON/OFF になります。

- 以下から選択します: { 自動 } / { オフ } / { 低 } / { 中 } / { 高 } から選択します。

メモ:

- デフォルトの { 自動 } オプションでは、温度が 45° C (113° F) に達すると冷却ファンが回り始め、43° C (109° F) の温度で冷却ファンを停止します。
 - 温度が 58° C (136° F) に達すると、画面に温度警告メッセージが表示されます。[] キー以外は機能しなくなります。
 - 温度が 60° C (140° F) に達すると、本製品の電源は自動的にシャットダウンされます。
- { ブライトネス } - { オン } を選択すると、画像の輝度が適切なレベルに調整されます。選択されているとき、映像設定メニューのブライツ設定は使用できなくなります。
- { ピクセルシフト } - オンに設定すると画像をわずかに拡大し、選択した時間間隔で上、下、左、右に移動します。({ 自動 } / { 10 ~ 900 } 秒 / { オフ }) から選択します。この機能をオンにすると、画面設定メニューでの水平位置、垂直位置、ズームモードの設定が無効になります。

ネットワーク制御ポート

ネットワーク制御ポートを選択します。

以下から選択します: { RS232 } / { Card OPS RS232 } / { LAN ->RS232 } から選択します。

注: OPS デバイスに接続後、{ Card OPS RS232 } を利用できるようになります。

ネットワーク設定

本製品に { IP アドレス }, { サブネットマスク }, および { デフォルトゲートウェイ } を割り当てます。

- ネットワークホスト名
- DHCP - DHCP 機能の有効化 / 無効化を選択します。有効にした場合、本製品には IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。無効にした場合、以下の値を手動で入力するように指示されます。[OK] ボタンを押して、選択した値を保存します。
- IP アドレス
- Subnet Mask (サブネットマスク)
- デフォルトゲートウェイ
- DNS1
- DNS2
- MAC アドレス
- ログインユーザー名 (デフォルトのユーザー名は { admin } です)
- ログインパスワード (デフォルトのパスワードは { 0000 } です)

DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディアファイルを受信します。

インターネットメモリを消去

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使ったデータをすべて消去します。

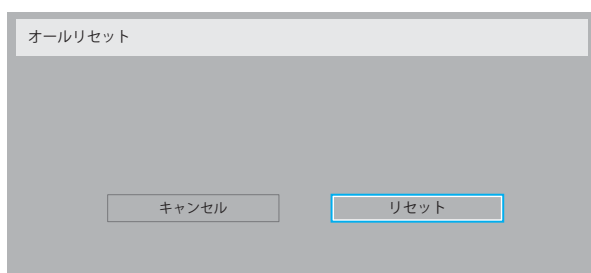
詳細設定 1 リセット

詳細設定 1 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

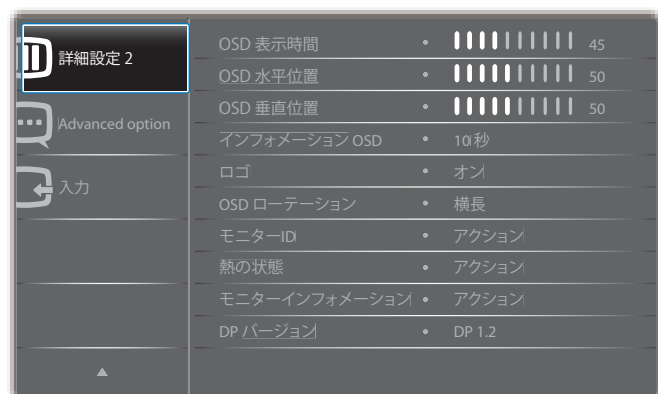
オールリセット

OSD メニューの中のすべての設定、{映像設定}、{画面設定}、{音質設定}、{PIP}、{詳細設定 1}、{詳細設定 2}、{Advanced option} を工場出荷時の値にリセットします。

[←] または [→] ボタンを押して {リセット} を選択し、[OK] を押してリセットします。



5.2.6. 詳細設定 2 メニュー



OSD 表示時間

OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューが画面に表示される時間を設定します。

オプションは次の通りです。{0 ~ 120} 秒。

OSD 水平位置

OSD メニューの水平位置を調整します。

OSD 垂直位置

OSD メニューの垂直位置を調整します。

インフォメーション OSD

インフォメーション OSD が画面の右上隅に表示される時間を設定します。インフォメーション OSD は入力信号が変更されると表示されず。

インフォメーション OSD は {オフ} を選択すると画面に残ります。

オプションは次の通りです。{オフ, 1 ~ 60} 秒。

ロゴ表示

ディスプレイの電源をオンにした時の PHILIPS ロゴの表示を有効または無効にします。

OSD ローテーション

OSD メニューを回転します。

オプションは次の通りです。

- {横長} (デフォルト)
- {縦長}

モニター ID

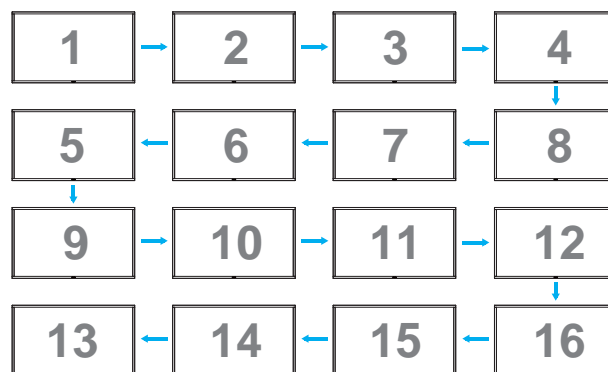
RS232C 接続経由で本製品を制御するための ID 番号を設定します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ~ 255 の間です。

オプションは次の通りです。{モニターグループ} / {Tiling matrix} / {自動 ID}



- {モニターグループ}
 - オプションは次の通りです。{1-255}。デフォルト設定は 1 です。
- {Tiling マトリックス}
- タイル行列の番号範囲は 1 ~ 15 の間です。1 がデフォルト設定です。{自動 ID} 設定機能では、{Tiling マトリックス} 設定に従って接続されたディスプレイの {モニター ID} を設定することができます。

例: タイル行列は 4 として設定されます。



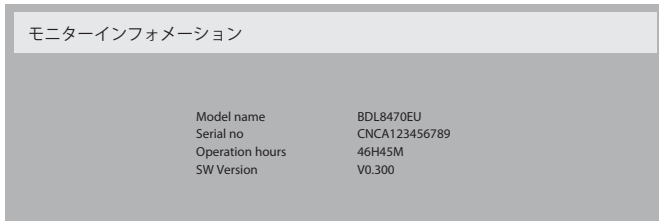
- {自動 ID}
 - オプションは次の通りです。{開始} / {終了}。デフォルトは {終了} です。
 - 開始オプションに切り替えると、ディスプレイの ID は現在の ID から前に戻って設定されます。
 - 設定が完了すると、オプションは自動的に終了します。
 - この機能を使用するには、すべてのマシンを RS-232 ケーブルでシリアル接続し、その制御ポートを RS-232 に設定します。

温度状態

この機能により、いつでも本製品の温度状態を確認することができます。

モニターインフォメーション

モデル番号、シリアル番号、動作時間、ソフトウェアバージョンを含め、ディスプレイに関する情報を表示します。



DisplayPort バージョン

オプションは次の通りです。{DP 1.1} / {DP 1.2} / {DP 1.2 multi}。デフォルトは {DP 1.1} です。

人感センサー

人を感知したらバックライトをオンにして、指定した時間が過ぎたらバックライトがオフになるようにディスプレイを設定します

オプションは次の通りです。{ オフ、10 ~ 60 } 分。

注： 人感センサーを使用する際には外部センサーが必要になります。

HDMI EDID

オプションは次の通りです。{HDMI 1.4} / {HDMI 2.0}。デフォルトは {HDMI 1.4} です。

注： HDMI 2.0 オプションは HDMI 2.0 機器の使用に対応するためのものです。

Image rotation (画像回転)

メインウィンドウのピクチャーを 270 度回転するように設定します。

オプションは次の通りです。{ オフ } (デフォルト) / { オン }。

Power LED light (電源 LED ライト)

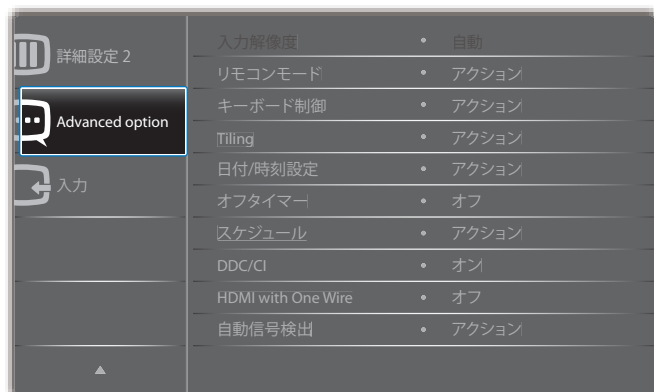
電源 LED を操作するために選択します。

オプションは次の通りです。{ オフ } / { オン } (デフォルト)。

詳細設定 2 リセット

詳細設定 2 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

5.2.7. Advanced option メニュー



入力解像度

VGA 入力の解像度を設定します。これは、本製品が VGA 入力解像度を正しく検出できない場合にのみ必要です。

注： この項目は VGA 入力でのみ有効です。

オプションは次の通りです。

- {1024x768 / 1280x768 / 1360x768 / 1366x768}
- {1400x1050 / 1680x1050}
- {1600x1200 / 1920x1200}
- { 自動 } : 解像度を自動的に決定します。

選択された設定は、電源を入れ直した後で有効となります。

リモコンモード

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- { ノーマル } - すべてのディスプレイは、リモコンで正常に動作させることができます。
- { Primary } - このディスプレイを、リモコン操作の 1 次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。
- { Secondary } - このディスプレイを 2 次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンでは操作できず、RS232C 接続を通して 1 次ディスプレイからの制御信号のみを受信します。
- { すべてロック } / { 音量以外すべてロック } / { 電源以外すべてロック } - このディスプレイのリモコン機能をロックします。ロック解除するには、リモコンの [**i**] 情報ボタンを 5 秒間長押しします。

注： メイン OSD メニューが消えた後、Primary / Secondary OSD が 3 秒間表示されます。または、[OK] ボタンを押して、他の OSD が表示されていない場合には Primary / Secondary OSD が表示されるようにします。

1. Primary OSD で [**←**] または [**→**] ボタンを押して { 制御モニター ID } の値を調節し、[**↑**] または [**↓**] ボタンを押して { 制御グループ ID } の値を調節します。

キーボード制御

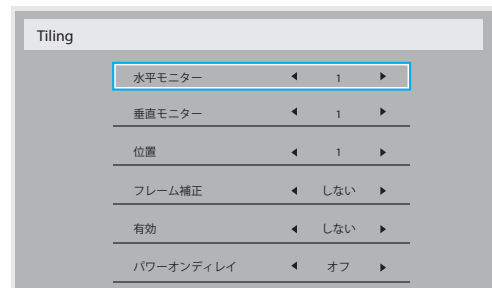
このボタンを選択すると、キーボード (コントロールボタン) 機能が有効または無効になります。

- { ロック解除 } - キーボード機能を有効にします。
- { すべてロック } / { 音量以外すべてロック } / { 電源以外すべてロック } - キーボード機能をロックします。

注： キーボードコントロールロックの有効 / 無効を切り替えるには、[**+**] と [**↑**] ボタンを押してから、3 秒以上押し続けます。

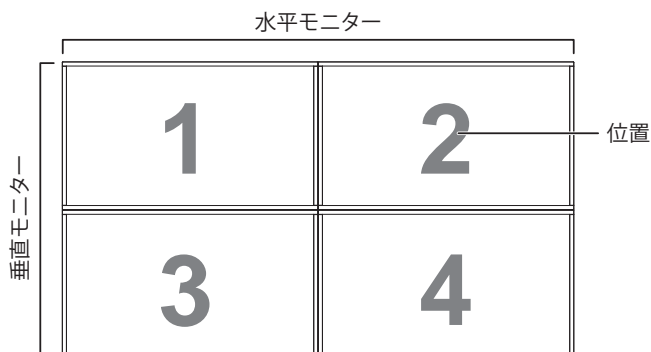
Tiling

- この機能を使うと、最大 150 台のディスプレイ (縦に最大 10 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。この機能はデジチェーン接続が必要です。



例:2×2の画面マトリックス(ディスプレイ4台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台 垂直モニター = ディスプレイ 2 台



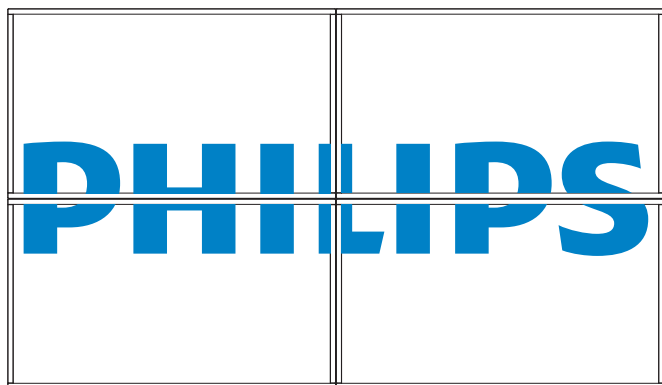
例:5×5の画面マトリックス(ディスプレイ25台)

水平モニター = ディスプレイ 5 台 垂直モニター = ディスプレイ 5 台

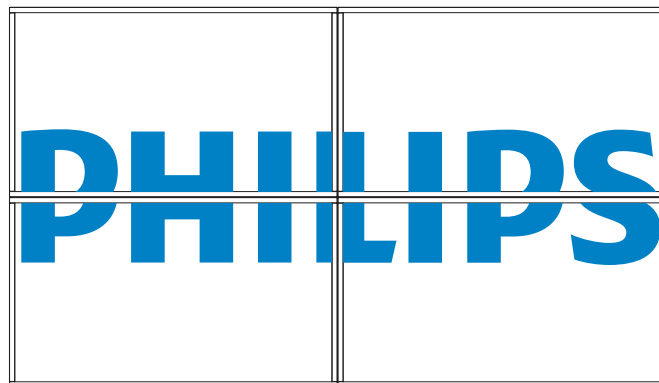


- {水平モニター} - 水平側のディスプレイ数を選択します。
- {垂直モニター} - 垂直側のディスプレイ数を選択します。
- {位置} - 画面マトリックス内の本製品の位置を選択します。
- {フレーム補正} - フレーム補正機能を ON または OFF にするかを選択します。{する} を選択すると、本製品は画像を正確に表示するために、画像を調整して、本製品のベゼル幅を補正します。

フレーム補正 - する



フレーム補正 - しない

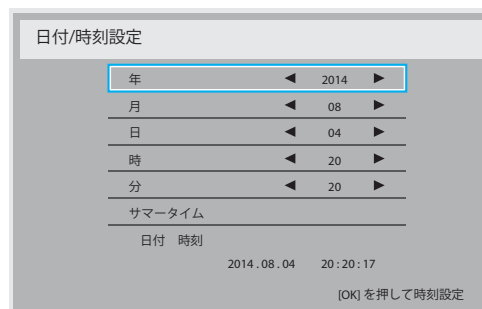


- {有効} タイル機能の有効 / 無効を選択します。有効にすると、本製品は {水平モニター} {垂直モニター} {位置} {フレーム補正} の設定を適用します。
- {パワーオンディレイ} - パワーオンディスプレイ時間 (秒) を設定します。デフォルトのオプション {自動} により、複数のディスプレイが接続されている場合、その ID 番号により各ディスプレイを順番にパワーオンすることができます。オプションは次の通りです。{オフ / 自動 / 2 ~ 255}

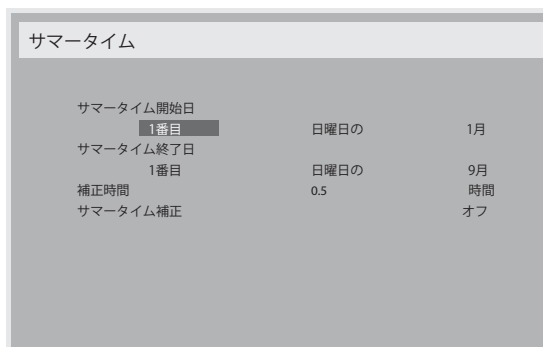
注: PIP 機能の使用中は Tiling が無効になります。

日付 / 時刻設定

本製品の内部時計の日付 / 時刻設定を調整します。



2. [OK] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. [▲] または [▼] ボタンを押して、{年} {月} {日} {時} {分} および {サマータイム} を切り替えます。
4. [◀] または [▶] ボタンを押して、{サマータイム} 以外のすべての設定を調整します。
5. [OK] ボタンを押して、{サマータイム} サブメニューに入ります。



6. [◀] または [▶] ボタンを押して項目を選択し、[▲] または [▼] ボタンを押して調節します。
- {サマータイム開始日} - {1月 ~ 12月} の月の {1 番目 / 2 番目 / 3 番目 / 4 番目 / 最後} の日曜日を選択します。
- {サマータイム終了日} - {1月 ~ 12月} の月の {1 番目 / 2 番目 / 3 番目 / 4 番目 / 最後} の日曜日を選択します。

- {補正時間} - オプションは以下のとおりです{0.5 / 1.0 / 1.5 / 2.0}
- {サマータイム補正} この機能を有効にするには {オン} を選択します。

オフタイマー

指定した時間で本製品が自動でスタンバイモードに入るように設定します。

オプションは次の通りです。{オフ、現在の時間から 1 ~ 24} 時間。
注： 「オフタイマー」がアクティブになっているとき、「スケジュール」設定は無効になります。

スケジュール

この機能により、最大 7 つの異なるスケジュールされた時間間隔で本製品をアクティブにするプログラムができるようになります。

以下の選択が可能です：

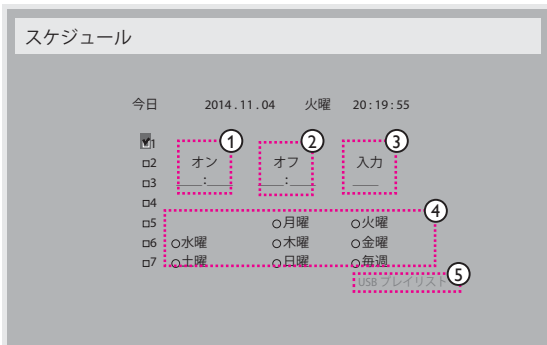
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。

注： この機能を使用する前に、{日付 / 時刻設定}メニューで現在の日付 / 時刻を設定するようにお勧めします。

1. [OK] または [▶] ボタンを押して、サブメニューに入ります。



2. [▲] または [▼] ボタンを押してスケジュール項目 (1-7 の項目番号) を選択し、次に [OK] ボタンを押して、項目番号をマークします。



3. [◀] または [▶] ボタンを押してスケジュールを選択します。

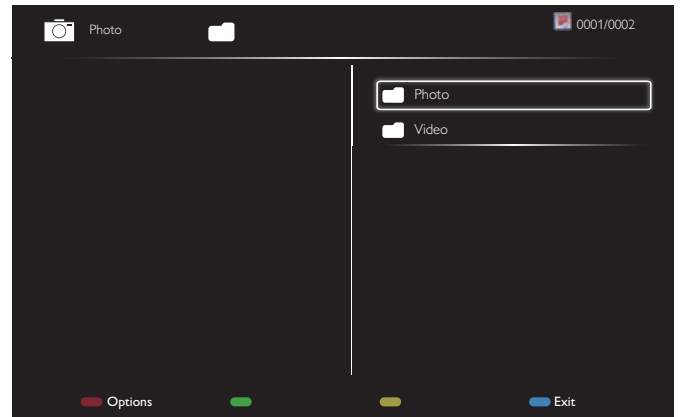
① **電源オンスケジュール** : [▲] または [▼] ボタンを押して、本製品の電源をオンにする時間と分を設定します。

② **電源オフスケジュール** : [▲] または [▼] ボタンを押して、本製品の電源をオフにする時間と分を設定します。

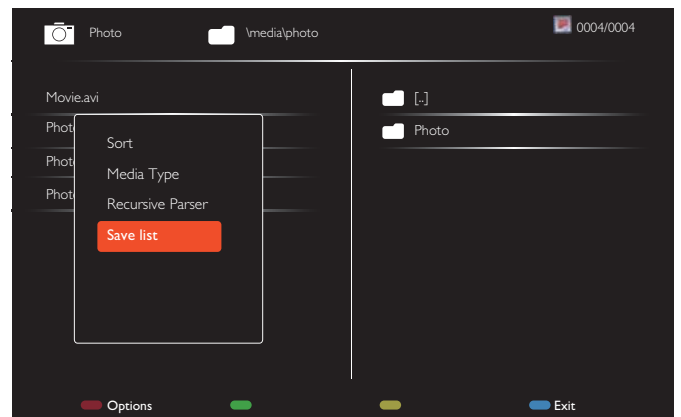
この電源 ON または電源 OFF スケジュールを使用たくない場合は、時間と分スロットを選択するかまたは「_」(空)のままにしておきます。

③ **入力ソースの選択** : [▲] または [▼] ボタンを押して入力ソースを選択します。入力ソースが選択されない場合、入力ソースは前回選択されたものと同じになります。

4. **日付スケジュール** : [▶] ボタンを押して、このスケジュール項目が何曜日に有効になるか選択し、次に [OK] ボタンを押します。
5. **入力ソースで USB を選択** すると、USB プレイリスト設定にアクセスできるようになります。



- [▲][▼] ボタンを押してファイルを選択します。
- [◀][▶] ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
- [OK] ボタンを押してプレイリストを設定または消去します。
- プレイリストを保存するには、[▶] を押して **Save list** を選択します。



4. さらにスケジュール設定を行うには、[↶] を押して、上記のステップを繰り返します。スケジュール項目の番号の横にあるボックスの中のチェックマークは、選択されたスケジュールが有効であることを示しています。

メモ：

- スケジュールが重なった場合、スケジュールされた電源 ON 時間がスケジュールされた電源 OFF 時間よりも優先されます。
- 同じ時間に 2 つのスケジュール項目がプログラムされている場合、番号の高いスケジュールが優先されます。例えば、項目 1 と項目 2 の両方が、本製品を朝 7 時に電源 ON、夕方 5 時に電源 OFF する設定されている場合、スケジュール項目 1 のみが有効となります。
- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {オールリセット} を選択してもプレイリストは消去されません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

DDC/CI

DDC/CI 通信機能のオン/オフを選択します。通常使用の場合は、{オン} を選択してください。

DDC/CI (コマンドインターフェース) はコンピュータがコマンドをモニターに送信する方法だけでなく、DDC2Ab/BI/B+ などの双方向リンク経由で、モニターからセンサーデータを受信する方法も指定します。

モニターを制御する特定のコマンドは、個別の MCCS (モニター制御コマンドセット) で定義されます。

DDC/CI モニターには、モニターのカラーバランスを自動調整できるように外付けのカラーセンサーが付属されているものもあります。

一部のビデオウォール用 DDC/CI モニターには、回転センサーを内蔵しモニターの縦置きと横置きを感知し自動的に画面を切り替える機能を搭載したものもあります。

以下の DDC/CI コマンド調整ができます。

番号	コマンド	番号	コマンド
1	ブライトネスの設定	6	ブライトネスの取得
2	コントラストの設定	7	コントラストの取得
3	赤ゲインの設定	8	赤ゲインの取得
4	緑ゲインの設定	9	緑ゲインの取得
5	青ゲインの設定	10	青ゲインの取得

HDMI with One Wire

CEC のオンとオフを選択します。

- {オフ} - CEC を無効にします。(デフォルト)
- {オン} - CEC を有効にします。

オートサーチ

本製品が利用可能な信号ソースを自動で検出し、表示させるように選択します。

- {オフ} - 信号が接続されると、手動での選択のみとなります。
- 選択した入力からの信号がない場合は、ディスプレイが各オプションの検索順序に従って自動的に画像を表示するように設定します。オプションは次の通りです。{すべて} / {PC ソースのみ} / {ビデオソースのみ} / {フェールオーバー}
- {すべて} : DP / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DVI / VGA / Component / OPS。
 - {PC ソースのみ} : DP / DVI / VGA / Card OPS。
 - {ビデオソースのみ} : HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / Component。
 - {フェールオーバー}
 - フェールオーバー 1-12: ユーザー定義の設定。デフォルト: HDMI。

OPS 設定

各電源条件下で OPS 詳細設定を設定します。

- {自動} - ビデオソース入力用の {Card OPS} を選択すると、OPS はディスプレイの電源がオフに設定されるかとオフに設定され、ディスプレイの電源がオンに設定されるとオンに設定されます。その他のビデオソース入力に設定されている場合、OPS は常にオンに設定されます。
- {常にオフ} - OPS は常にオフに設定されます。
- {常にオン} - OPS は常にオンに設定されます。

言語選択

OSD メニューで使用する言語を選択します。

オプションは次の通りです。{English} / {Deutsch} / {簡体中文} / {Français} / {Italiano} / {Español} / {Русский} / {Polski} / {Türkçe} / {繁體中文} / {日本語} / {Português}。

Advanced option reset

Advanced option メニューにある {日付/時刻設定} 以外のすべての設定を、工場出荷時の値にリセットします。

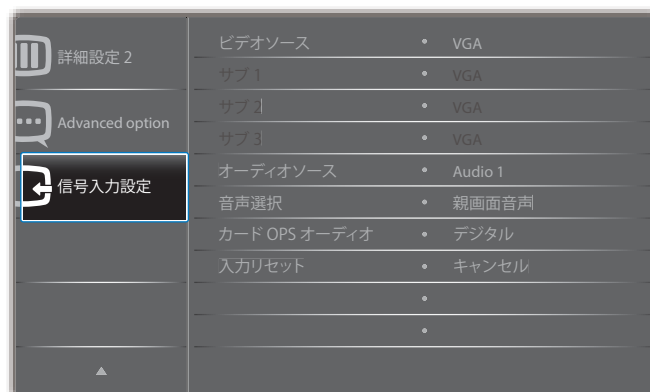
1. [OK] または [▶] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
2. [◀] または [▶] ボタンを押して {リセット} を選択し、次に [OK] ボタンを押して設定を工場出荷時の値に復元します。
3. [↶] ボタンを押すか {キャンセル} を選択し、次に [OK] ボタンを押してキャンセルして前のメニューに戻ります。

APM (Auto Power Management)

一定時間信号がない場合のパワーセーブモードを設定します。

- {オフ} - 信号なし、直接シャットダウン。
- {オン} - 信号なし、パワーセーブモードに入ります。(デフォルト)。

5.2.8. 信号入力設定



ビデオソース

ビデオ入力ソースを選択します。

以下から選択します : {Displayport} / {DVI-D} / {VGA} / {HDMI1} / {HDMI2} / {HDMI3} / {Component} / {Video} / {USB} / {ブラウザー} / {SmartCMS} / {Card OPS}。

サブ 1

サブ Win1 ピクチャーの入力信号を選択します。

以下から選択します : {Displayport} / {DVI-D} / {VGA} / {HDMI1} / {HDMI2} / {HDMI3} / {Component} / {Video} / {USB} / {ブラウザー} / {SmartCMS} / {Card OPS}。

サブ 2

サブ Win2 ピクチャーの入力信号を選択します。

以下から選択します : {Displayport} / {DVI-D} / {VGA} / {HDMI1} / {HDMI2} / {HDMI3} / {Component} / {Video} / {USB} / {ブラウザー} / {SmartCMS} / {Card OPS}。

サブ 3

サブ Win3 ピクチャーの入力信号を選択します。

以下から選択します : {Displayport} / {DVI-D} / {VGA} / {HDMI1} / {HDMI2} / {HDMI3} / {Component} / {Video} / {USB} / {ブラウザー} / {SmartCMS} / {Card OPS}。

オーディオソース

ディスプレイの音声入力と HDMI ソケットに接続された音声信号ソースに従って、音声入力ソースを選択します。

以下から選択します : {アナログ} / {Displayport} / {Audio1} / {Audio2} / {メディア}。

音声選択

PIP (子画面設定) モードでオーディオソースを選択します。

- { 親画面音声 } - メインピクチャーから音声を選択します
- { サブ 1 } - サブ 1 映像から音声を選択します。
- { サブ 2 } - サブ 2 映像から音声を選択します。
- { サブ 3 } - サブ 3 映像から音声を選択します。

カード OPS オーディオ

Card OPSのアナログまたはデジタル音質設定モードを選択します。

信号入力設定リセット

入力メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

6. USB デバイス互換性

動画：

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 DVD-PCM、AC3
		MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p@frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTS TTS	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50、60Hz 1920x1080p @ frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	
		H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC
.ism/ Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p、30p、50p、60p、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、WMA、 WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	

.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50、60Hz 1920x1080p@frame rate=24、25、30Hz 1280x720p @ frame rate=50、60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p、60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p、30p、50i、60i	30	MPEG-1(L1&L2)、MPEG-1、2、2.5 L3、AAC/HE-AAC(v1&v2)、AC3、E-AC3、WMA、WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

オーディオ：

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)

静止画：

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数	最大ビットレート	オーディオコーデック
jpg/jpeg	JPEG		カラーモード =444 の場合、 ・ 32,768 × 16128 未満 カラーモード = 422v の場合、 ・ 16,384x16,128 未満 その他のカラーモードの場合 ・ サポートしていません	-	-	-
BMP	BMP		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-
png	PNG		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-
gif	GIF		4096x3072_4bit 2730x2500_8bit 2048x1536_16bit 1500x1200_32bit	-	-	-

注記：

- 音声及び動画コンテンツが上記の表に記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が正常に再生されないことがあります。
- 映像コンテンツが上記の表に記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になることがあります。

7. 入力モード

FHD プリセットモード (VGA/DVI タイミングサポート):

項目	解像度	H.Freq.(KHz)	V.Freq.(Hz)	BW(MHz)
1	640x350	31.469	70.086	25.175
2	640x480	31.469	59.94	25.175
3	640x480	35	66.67	30.240
4	640x480	37.861	72.809	31.500
5	640x480	37.5	75	31.500
6	720x400	31.469	70.087	28.322
7	800x600	35.156	56.25	36.000
8	800x600	37.879	60.317	40.000
9	800x600	48.077	72.188	50.000
10	800x600	46.875	75.000	49.500
11	832x624	49.726	74.551	57.284
12	848x480	31	60.000	33.750
13	960x720	56.4	75.000	72.420
14	960x720	44.74	59.973	57.580
15	1024x768	48.363	60.004	65.000
16	1024x768	56.476	70.069	75.000
17	1024x768	60.023	75.029	78.750
18	1024x768	61.08	75.781	86.000
19	1024x768	35.5	43.000	44.900
20	1152x864	53.986	59.985	79.900
21	1152x864	53.783	59.959	81.750
22	1152x864	63.851	70.012	94.499
23	1152x864	67.5	75.000	108.000
24	1152x870	68.681	75.062	100.000
25	1152x900	61.846	66.004	94.500
26	1152x900	71.809	76.149	108.000
27	1280x720	44.772	60.000	74.500
28	1280x720	52.5	70.000	89.040
29	1280 x768	47.776	59.870	79.500
30	1280 x768	60.289	74.893	102.250
31	1280x800	49.7	59.810	83.500
32	1280x800	62.8	74.930	106.500
33	1280x960	60	60.000	108.000
34	1280x960	75.171	75.021	129.895
35	1280x1024	63.981	60.020	108.000
36	1280x1024	71.691	67.189	117.000
37	1280x1024	76.02	71.448	130.223
38	1280x1024	79.976	75.025	135.000
39	1280x1024	81.13	76.110	135.000
40	1360x768	47.712	60.015	85.500
41	1366x768	47.712	59.790	85.500
42	1440x900	55.469	59.901	88.750
43	1440x900	55.935	59.887	106.500
44	1440x900	70.635	74.984	136.750
45	1400x1050	64.744	59.948	101
46	1440x1050	65.3	60.000	121.750
47	1400x1050	82.278	74.867	156
48	1600x900	55.54	60.000	97.750
49	1600x1200	75	60	162
50	1680x1050	65.29	59.954	146.250
51	1680x1050	64.674	59.883	119.000
52	1920x1080	66.587	59.934	138.500
53	1920x1080	67.5	60.000	148.500
54	1920x1080	67.1584	59.963	173.000
55	1920x1080	67.08	60	172.798
56	1920x1200	74.038	59.950	154.000

UHD プリセットモード (DP/HDMI タイミングサポート):

項目	解像度	H.Freq.(KHz)	V.Freq.(Hz)	BW(MHz)
1	3840x2160	53.946	23.900	296.703
2	3840x2160	54	24.000	297.000
3	3840x2160	56.25	25.000	297.000
4	3840x2160	67.432	29.900	296.703
5	3840x2160	67.5	30.000	297.000
6	4096x2160	54	24.000	297.000
7	3840x2160	135	60.000	594.000

ビデオ タイミングサポート (HDMI/DVD HD/DVI):

480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p、4Kx2K (DVI を除く)。

メモ:

- PC のテキスト品質は、HD1080 モード(1920 × 1080,60Hz)で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー (および Windows の特定のバージョン) により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz(垂直)と 31.5KHz(水平)を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合 (または PC が接続されていない場合) に異常な信号 (筋など) が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。
- 入力ソースがコンポーネントまたはビデオの場合は、他の入力ソースに比べてインフォメーション OSD がゆっくりめに表示されます。
- コンポーネントソースやビデオソース入力の解像度に関わらず、ズームモード設定で表示される画像は 1080P 解像度と同じものです。

8. LCD パネルの画素欠陥および MURA について

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界最先端の製造プロセスと厳しい品質管理を採用していますが、LCD パネルで画素欠陥が生じるのはやむを得ないものと考えております。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証することはできませんが、当社では保証期間中であれば、許容スペックを超える数の欠陥がある LCD パネルを修理または交換することを保証します。

8.1. 輝点欠陥

輝点欠陥は常時点灯している画素により発生します。以下が輝点欠陥の許容スペックとなります。サブ画素を一つの点の単位と数えません。

輝点欠陥	max 2
隣接する 2 つ以上の輝点欠陥	0

8.2. 部分的な輝点の欠陥

部分的な輝点欠陥	max 10
----------	--------

8.3. 暗点欠陥

暗点欠陥は、常時非点灯の画素により構成されます。以下が暗点欠陥の許容スペックとなります。

暗点欠陥	max 10
隣接する 2 つの暗点欠陥	max 2
隣接する 3 つの暗点欠陥	0
暗点欠陥間の最小距離	10mm

MURA

LCD パネルには画面上に暗い部分が現れることがあります。この現象は日本語の「ムラ」を意味する MURA として業界では知られており、特定の条件下で現れる画面上の不均一な部分を表します。MURA は液晶配向層の劣化の結果であり、高い周辺温度での長期間の使用により引き起こされるのが最も一般的な原因です。MURA は修理できません。また、当社の保証範囲外となります。

MURA を避ける方法

毎回 MURA を完全に除去する保証はできませんが、一般に MURA の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- バックライトの明るさを下げる
- スクリーンセーバーを使用する
- 機器の周りの温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本製品を使用する際の注意

- 手や顔、物をディスプレイの通気口に近づけないで下さい。ディスプレイ上部は、通気口から放出される排気のため高温となっており、身体の一部を近づけ過ぎると火傷や怪我をすることがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、当該物およびディスプレイ本体に、熱による破損が生じる可能性があります。
- ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- 清掃や保守作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

前面パネル清掃手順

- ディスプレイの液晶パネル部は非常にデリケートです。表面はクリーニング用のクロスか、柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いて下さい。
- 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って余分な水分を取り除いた上で、液晶パネル表面を拭き埃を除いて下さい。その後、同じ種類の乾いた布で拭いて下さい。
- 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶついたりしないで下さい。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いて下さい。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って水分を取り除いた上で、キャビネット表面を拭きます。その後、別の乾いた布で拭いて表面を乾かして下さい。
- 液晶パネル表面は、水や洗剤にさらさないようにして下さい。水分がディスプレイ内部に入り込むと、動作不良や故障、感電事故が起こる恐れがあります。
- キャビネットを爪で引っ掻いたり、硬い物をぶついたりしないで下さい。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。
- ゴム製品またはポリ塩化ビニール製品を長期間キャビネット付近に置かないで下さい。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチがオンであることを確認します。 3. ディスプレイに入力ソースを接続します。
表示された画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少ない場所にディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常な模様で歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
画像が画面いっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。 	<p>画面設定メニューのズームモードまたはCUSTOM ZOOMメニューで、画像の配置を調整します。</p> <p>画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。</p>
音声は聞こえるが、映像が表示されない	信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. [Mute] がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [VOL UP] [VOL DOWN] ボタンで音量を調整します。 3. [Mute] ボタンを押してミュートをオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	液晶パネルに画素欠陥がある。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示される (例：ロゴ、ビデオゲーム、パソコン画面、 4:3 モードで表示された静止画像などの残像)	静止画像を長時間表示した。	静止画像を長時間表示しないで下さい。ディスプレイ上に残像が表示される原因となります。

10. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	84" (213.5 cm) LCD
縦横比	16:9
画素数	3840 (水平) × 2160 (垂直)
画素ピッチ	0.4845 × 0.4845 mm
色の深さ	約 10 億 6,000 万色
輝度	500 nits (標準)
コントラスト比	1400:1 (標準)
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様	
スピーカー出力	内部スピーカー 外部スピーカー	10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 1 方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
SPDIF 出力	SPDIF ポート	入力が HDMI の場合はシリアルデジタル音声出力
音声出力	3.5mm ステレオ × 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
音声入力	RCA ジャック × 2 3.5mm ステレオ × 1	0.5V [rms] (標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
RS232C	2.5mm フォンジャック × 2	RS232C 入力 / RS232C 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック × 1 (8 ピン)	10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック × 3 (タイプ A) (19 ピン)	デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: ビデオ - 720p, 1080p, 1920 × 1080/60 Hz (WUXGA), 4K/2K 30/60Hz 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック	デジタル RGB:TMDs (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック × 1 (15 ピン)	アナログ RGB:0.7V [p-p] (75 Ω), H/CS/V:TTL (2.2k Ω), SOG:1V [p-p] (75 Ω) 最大: 720p, 1080p, 1920 × 1080/60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	RCA ジャック × 3	Y:1V [p-p] (75 Ω), Pb:0.7V [p-p] (75 Ω), Pr:0.7V [p-p] (75 Ω) 最大: 480i, 576i, 480p, 576p, 720p, 1080i, 1080p
ビデオ入力	RCA × 1 (Component_Y と共有)	コンポジット 1V [p-p] (75 Ω)
ディスプレイポート イン/アウト	ディスプレイポート ジャック × 2 (20 ピン)	デジタル RGB:TMDs (ビデオ + 音声) 最大: ビデオ - 3840 × 2160@60Hz 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート
IR 入力 / 出力	3.5 mm × 2	IR パススルーまたは IR デイジーチェーン
USB 入力	USB × 1 (タイプ A)	USB 2.0, マルチメディア再生のみ

一般:

項目	仕様
電源	AC 100 - 240V、50 - 60Hz
消費電力	600 W (最大)
	400 W (標準)
	<0.5W (スタンバイモード)
寸法 (スタンドなし)	1910.0 (幅) × 1102.0 (高さ) × 77.8 (奥行き) mm
重量 (スタンドなし)	70.00 Kg
総重量 (スタンドなし)	102.5 Kg

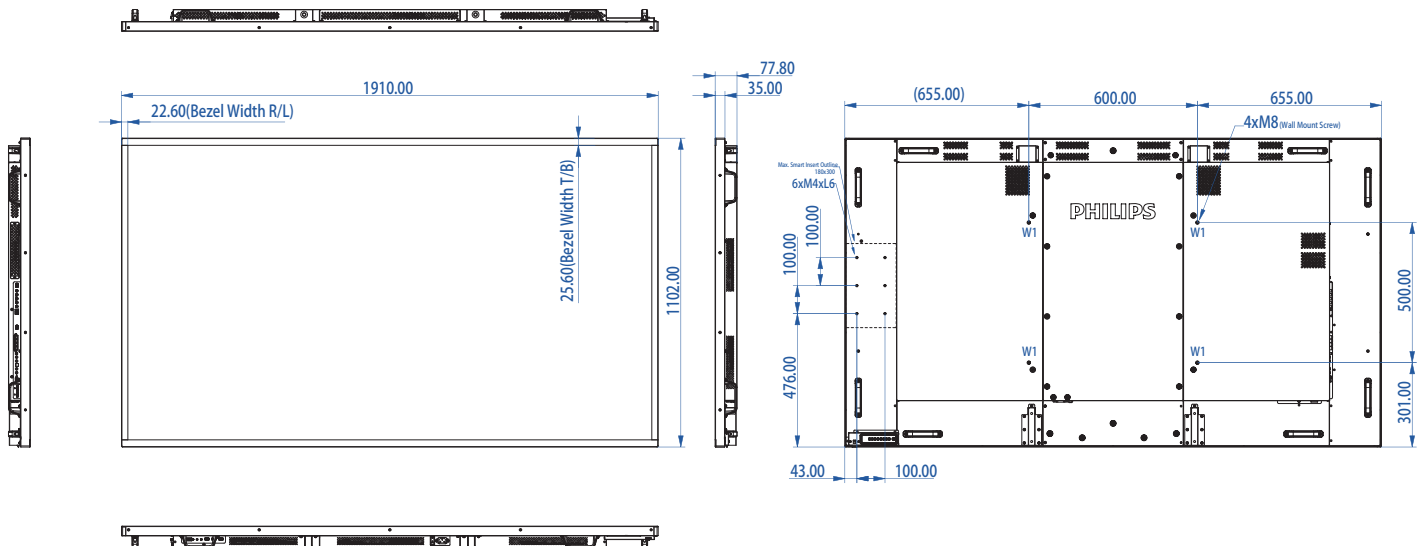
環境条件:

項目	仕様	
温度	操作時	0 ~ 40° C
	ストレージ	-20 ~ 60° C
湿度	操作時	20 ~ 80% (未圧縮時)
	ストレージ	5 ~ 95% (未圧縮時)
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	ストレージ / 輸送中	0 ~ 9,000 m

内部スピーカー:

項目	仕様
種類	1 方向 1 スピーカー
入力	10 W (RMS)
インピーダンス	8 Ω
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz ~ 13 KHz

11. 外形図





フィリップスモニター・サポートセンター

0120-060-530

受付時間

10:00-17:00(平日)

philips-support@seamless.co.jp

2015 © Koninklijke Philips N.V.無断複製および転載を禁じます。

PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、Koninklijke Philips N.V.の許可を得て使用しています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。